

# TERG

Discussion Paper No.418

未来型医療に関するアンケート調査（基本集計結果）

陳 鳳明 吉田 浩

Fengming CHEN and Hiroshi YOSHIDA

February, 2020

TOHOKU ECONOMICS RESEARCH GROUP

---

GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS AND  
MANAGEMENT TOHOKU UNIVERSITY  
27-1 KAWAUCHI, AOBA-KU, SENDAI,  
980-8576 JAPAN

TERG, Discussion Paper No.418

未来型医療に関するアンケート調査  
(基本集計結果)

陳 鳳明<sup>†</sup> 吉田 浩<sup>‡</sup>

Fengming CHEN, Hiroshi YOSHIDA

2020. 2

TOHOKU ECONOMICS RESEARCH GROUP

概要

本調査の目的は、未来の社会と医療・福祉に関する住民の意向を把握することである。調査内容は、AI・ロボットによる医療診断から終末期医療に関わる「安楽死」・「尊厳死」・「リビングウィル」まで未来型医療に関する様々な方面を網羅している。この調査は2020年1月31日から2月2日にかけて、全国のモニタ会員を対象とし、3,100人から回答を得た。また調査票の設計や調査の実施などについては東北大学大学院経済学研究科の研究倫理審査委員会の規定に従っている。

本調査は東北大学未来型医療創造卓越大学院プログラムの事業として行われた。

キーワード：未来型医療、AIによる診断、地域医療、終末期医療、アンケート調査

GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS AND  
MANAGEMENT TOHOKU UNIVERSITY  
27-1 KAWAUCHI, AOBA-KU, SENDAI,  
980-8576 JAPAN

---

<sup>†</sup>東北大学加齢医学研究所 スマート・エイジング学際重点研究センター助教, cfmbdx@gmail.com

<sup>‡</sup>東北大学経済学研究科 高齢経済社会研究センター 教授, hiroshi.yoshida.e2@tohoku.ac.jp

## 未来型医療に関するアンケート調査

### 目次

- A. 全体集計結果
- B. 年齢別集計結果
- C. 男女別集計結果
- D. 全体集計結果（仙台市）
- E. 年齢別集計結果（仙台市）
- F. 医療に関するアンケート調査票

## A. 全体集計結果

Q1. あなたが、未来のあるべき姿と比較して、現在の日本の状況について、ある程度満足に近いレベルまで達成されていると思うものは、どれですか。（いくつでも）

表A1 現在の日本で満足している制度・政策について

Q1	N	%
1. 高齢者福祉	297	9.6
2. IT・通信技術	844	27.2
3. 車の安全運転技術	699	22.5
4. 地球温暖化対策	156	5.0
5. 自然災害に対する防災対策	228	7.4
6. 選挙・政治制度	114	3.7
7. 医療・治療技術	756	24.4
8. 男女平等	314	10.1
9. 子育て支援	338	10.9
10. 裁判制度	204	6.6
11. マスコミの報道姿勢	126	4.1
12. 救急搬送	767	24.7
13. 政府や自治体の情報公開	148	4.8
14. その他	87	2.8
15. わからない	913	29.5
全体	3,100	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（%）を表す。

Q2. 今後医療費が増大した場合、健康保険で受けられる医療サービスの水準と、その費用の負担の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表A2 健康保険の受益と負担の関係について

Q2	N	%
----	---	---

1. 今後、多少負担が増えても、現在の健康保険で受けられる医療サービスの水準を維持するべきだ	1,299	41.9
2. これ以上負担が増えないように、健康保険で受けられる医療サービスの水準をやや抑え気味にするべきだ	959	30.9
3. 負担を低くするために、健康保険で受けられる医療サービスの水準を抑制していくべきだ	302	9.7
4. その他	84	2.7
5. わからない	456	14.7
全体	3,100	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q3. あなたは、今後、社会保障費の増大を抑制するため、政府が取り組みを強化するべきだと思うものはどれですか。（いくつでも）

**表A3 政府が強化すべき取り組みについて**

Q3	N	%
1. 予防活動や定期的な健康診断の受診など、本人が病気や要介護にならないような行動を評価する制度（健康保険料や介護保険料や自己負担割合の軽減など）	1,642	53.0
2. 健診を受けない行動、疾病や予防活動を行わない等、病気や要介護を避けようとしないうような行動にペナルティを与える制度（健康・介護保険料の増額や自己負担割合の引き上げなど）	569	18.4
3. 甘味の炭酸飲料や塩分を多く含む加工食品等に対して、疾病予防の見地から税金を課し、それらの食品等の摂取を抑制するように誘導する制度	504	16.3
4. 病院・診療所の治療成績や費用を情報公開し、患者が自分の判断で医療機関を選べるシステムの推進	900	29.0
5. DNAなど遺伝子レベルでの検査や治療の拡大と推進	743	24.0
6. AIやICT技術、ロボット等の導入による、医療・福祉のコンピュータ化、情報化、ロボット化の推進	864	27.9
7. その他	76	2.5
8. わからない	471	15.2
全体	3,100	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q4. あなたが、カウンセリングや心理相談など「心の健康」に関する治療や相談について、これまでもっとも多く経験したのものについてあてはまるものをお答えください。

**表A4 心の健康に関する相談・治療の経験について**

Q4	全体		1. 非常に満足できた	2. やや満足できた	3. どちらともいえな	4. あまり満足できなかった	5. 全く満足できなかった	6. 治療や相談をしたことがない
	N							
1. 公立の医療機関(病院等)での治療や相談	N	3,100	77	395	444	138	63	1,983
	%	100.0	2.5	12.7	14.3	4.5	2.0	64.0
2. 私立の医療機関(病院等)での治療や相談	N	3,100	83	445	512	158	61	1,841
	%	100.0	2.7	14.4	16.5	5.1	2.0	59.4
3. 公立の相談機関(センター、相談所)での相談	N	3,100	52	170	371	114	56	2,337
	%	100.0	1.7	5.5	12.0	3.7	1.8	75.4
4. 私立や民間の相談機関(センター、相談所)での相談	N	3,100	56	149	342	99	47	2,407
	%	100.0	1.8	4.8	11.0	3.2	1.5	77.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q5. あなたは、以下にあげる健康法や病気の治療法に関する情報源で、ある程度信用している情報源はどれですか。（いくつでも）

表A5 信用している情報源について

Q5	N	%
1. NHKで放送されるテレビ・ラジオの健康番組による情報	1,188	38.3
2. 民放番組で放送されるテレビ・ラジオの健康番組による情報	1,056	34.1
3. 新聞の情報記事	700	22.6
4. 一般の雑誌・週刊誌などの情報記事	268	8.6
5. 健康専門雑誌の情報記事	477	15.4
6. 医師が執筆した書籍	652	21.0
7. 医師以外の方が執筆した書籍	112	3.6
8. インターネット上の情報（厚生労働省や専門機関の示すもの）	880	28.4
9. インターネット上の情報（民間企業の示すもの）	496	16.0
10. インターネット上の情報（個人のブログやSNSで発信されるもの）	307	9.9
11. 友人や知人の口コミでの情報	365	11.8
12. 広告やチラシ、DMによって提供される情報	44	1.4
13. その他	31	1.0
14. 特にな	762	24.6
全体	3,100	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（%）を表す。

Q6. ガンや難病などに関して、いわゆる代替療法や民間療法（自宅で独自に食材摂取や手当を行うこと）について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表A6 代替医療や民間療法に関する考えについて

Q6	N	%
1. 代替療法や民間療法は根拠が希薄で、自分なら選択しないと思う	1,146	37.0
2. 代替療法や民間療法は根拠が希薄だが、自分なら選択するかもしれない	511	16.5
3. 代替療法や民間療法はそれなりに効果を経験した人がいると思うので、自分なら選択するかもしれない	432	13.9
4. 代替療法や民間療法にはまだ医学では解明できない有効な効果が含まれていると思うので、自分なら選択すると思う	139	4.5
5. わからない	872	28.1
全体	3,100	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（%）を表す。

Q7. 未来型の医療として、あなたがイメージできるのは、次のうちどれですか。

表A7 未来型医療のイメージについて

Q7	N	%
1. 待ち時間ゼロでいつでも受診できる医療機関	1,119	36.1
2. 全く家から出なくとも、精密な検査や診療、治療が受けられること	1,001	32.3
3. 治療や手術などの期間や時間が大幅に短縮されること（1回や1日で完治など）	1,399	45.1
4. 治療や手術、検査などで全く痛みを感じないようにできること	1,313	42.4
5. 自分の遺伝子から健康な臓器を複製し、病気になった部分と差し替えることができること	1,026	33.1
6. 常に日常生活の中から身体の情報を収集し、自覚症状が出る前に疾病の警告が得られること	811	26.2
7. 老化をコントロールし、長期間にわたって若々しい身体の状態が維持される技術	661	21.3
8. 視力や聴力、筋力を代替する超小型ハイテク機器を身体に埋め込む技術	574	18.5
9. 人に代わって、AIやロボットが診察する病院の登場	646	20.8
10. 病院ではなく自宅で、自分で治療を行うことができる機器の登場	531	17.1
11. その他	15	0.5
12. わからない	331	10.7
全体	3,100	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（%）を表す。

Q8. 医療技術や製薬技術の進歩のために、あなたの体の情報や診療・検査結果のデータを

第三者が利用することについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表A8 医療データの第三者利用について

Q8	N	%
1. 個人が特定されないのであれば、予め同意がなくてもDNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	522	16.8
2. 個人が特定されないのであれば、予め同意をしたもとの、DNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	1,066	34.4
3. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意がなくても自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	187	6.0
4. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意をしたもとの、自由に使って、医療製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	411	13.3
5. 例え個人が特定されなくとも、個人の身体、治療にかかわるデータを第三者が利用することには反対である。	274	8.8
6. わからない／この中であてはまるものはない	640	20.6
全体	3,100	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（%）を表す。

Q9. AI（人工知能）による医療診断について、あなたの考えに近い（ある程度以上同意する）ものはどれですか。（いくつでも）

表A9 AIによる医療診断について

Q9	N	%
1. 根拠が明示され、結果に納得ができる	655	21.1
2. 待ち時間のストレスを緩和できる	1,044	33.7
3. 治療時間の短縮化が期待できる	990	31.9
4. 金銭的コストを改善できる	1,099	35.5
5. 人手不足の問題を解消できる	1,674	54.0
6. 地域格差の問題を解消できる	1,013	32.7
7. 間違った診断で不快にならなくて済む	496	16.0
8. 診断に対しての責任の所在に不安を感じる	795	25.6
9. 自分の感情や状況を理解してもらえないとは思えない	773	24.9
10. 複雑な症例は診断しきれないと思う	852	27.5
11. 医師がAIに依存して本来の役割を果たせなくなる	537	17.3
12. 医師が人工知能を使いこなせないと思う	376	12.1

13. その他	20	0.6
14. わからない	343	11.1
全体	3,100	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q10. あなたが、次のなかで、A I（人工知能）やロボットに任せてもよいと思う診療行為はどれですか。（いくつでも）

表A10 A Iに任せてもよい診療行為について

Q10	N	%
1. 症状から訪れるべき医療機関や診療科の選択や候補の提示	1,386	44.7
2. 初診や再診の予約の受付	1,996	64.4
3. 初診の際の問診	1,196	38.6
4. 身長、体重、血圧、視力、聴力、心拍数、体温などの測定	2,127	68.6
5. 処方箋に基づく調剤や薬の給付	999	32.2
6. 診療や投薬の代金支払いの会計	1,578	50.9
7. 健康診断書や診療内容の証明書の発行	1,417	45.7
8. 一般の健康診断の結果の分析と本人への告知・説明と保健指導	492	15.9
9. 患者からの病状や治療方針等の質問・相談に対する回答	262	8.5
10. 入院時の病室の巡回、体温測定、病状の確認	597	19.3
11. レントゲンの撮影	1,039	33.5
12. 採血	395	12.7
13. 注射や点滴	310	10.0
14. 歯科治療	146	4.7
15. 外科手術（開腹を伴うもの）	118	3.8
16. 死亡の判定	197	6.4
17. ガンの告知と治療方針の説明	153	4.9
18. その他	15	0.5
19. わからない	310	10.0
全体	3,100	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q11. あなたの現在の健康状態はいかがですか。（1つだけ）

表A11 現在の健康状態について

Q11	全体	1. よい	2. まあよい	3. ふつう	4. あまりよくない	5. よくない
N	3,100	560	930	1,139	377	94

%	100.0	18.1	30.0	36.7	12.2	3.0
---	-------	------	------	------	------	-----

Q12. あなたが健康を維持するために行っていることをお選びください。（いくつでも）

表A12 健康維持のための行動について

Q12	N	%
1. 職場や市町村の実施する健康診断を必ず受ける	1,186	38.3
2. 自発的に人間ドックを受診する	308	9.9
3. 定期的に運動・フィットネス・体操等を継続する	878	28.3
4. つねに食事に気をつけ、望ましい食生活を実践する	815	26.3
5. レジャーや旅行などの余暇活動の充実をさせている	546	17.6
6. スマホやパソコン等の健康サポートアプリを利用する	225	7.3
7. 新聞・テレビ・雑誌などで健康の情報・知識を増やすようにしている	479	15.5
8. 油分・塩分を取りすぎないようにする	841	27.1
9. 酒・タバコを控えている	733	23.6
10. 過労に注意し、睡眠、休養を十分とるよう心がけている	1,116	36.0
11. あてはまるものはない	488	15.7
全体	3,100	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（%）を表す。

Q13. 今後、AIやロボット技術の進展と介護人材の不足に伴って、ヒト型AIロボットが介護の世話をを行う時代が来るかもしれません。この時、あなたがヒト型AIロボットによって介護してもらった方が良いか従来の介護士（人）によって介護してもらった方が良いかを選んでください。

表A13 AIロボットによる介護に対する考えについて

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い
1. 食事の介助	N	3,100	247	443	1,202	764	444
	%	100.0	8.0	14.3	38.8	24.6	14.3
2. 入浴の介助	N	3,100	551	820	972	449	308
	%	100.0	17.8	26.5	31.4	14.5	9.9
3. 整容の介助	N	3,100	267	451	1,599	521	262
	%	100.0	8.6	14.5	51.6	16.8	8.5
4. 移動の介助	N	3,100	552	873	1,202	307	166
	%	100.0	17.8	28.2	38.8	9.9	5.4

5. トイレの介 助	N	3,100	751	1,019	865	265	200
	%	100.0	24.2	32.9	27.9	8.5	6.5
6. 話し相手	N	3,100	96	143	886	1,000	975
	%	100.0	3.1	4.6	28.6	32.3	31.5
7. ゲームや娯 楽の相手	N	3,100	221	454	1,455	544	426
	%	100.0	7.1	14.6	46.9	17.5	13.7
8. 部屋の掃除	N	3,100	765	864	1,203	152	116
	%	100.0	24.7	27.9	38.8	4.9	3.7
9. 薬の管理	N	3,100	507	697	1,269	379	248
	%	100.0	16.4	22.5	40.9	12.2	8.0
10. お金の管理	N	3,100	686	758	1,074	306	276
	%	100.0	22.1	24.5	34.6	9.9	8.9

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q14. 近年、終末期医療に関して「安楽死」「尊厳死」「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの問題が話題になっていますが、それぞれについて、あてはまるものをお選びください。

表A14 安楽死・尊厳死・リビングウィルに関する考えについて

Q14		全体	1. 積	2. どち	3. どち	4. どち	5. 決
			極 的 に 選 択 す る	ら か と い え ば 選 択 す る	ら と も 言 え な い	ら か と い え ば 選 択 し な い	し て 選 択 し な い
1. あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6 か月以内に死を迎えることが避けられない状態にある場合、「延命治療」（ここでは治癒にはつながらず、死期を先延ばしするような処置であるものとする）を選択しますか。	N	3,100	128	354	860	952	806
	%	100.0	4.1	11.4	27.7	30.7	26.0
2. あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6 か月以内に死を迎える可能性が高い状態にある場合、「尊厳死」（ここでは、延命治療をやめて痛みを緩和する処置にとどめて、自然死を迎えるものとする）を選択しますか。	N	3,100	742	1,130	906	212	110
	%	100.0	23.9	36.5	29.2	6.8	3.5

3. あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6 か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きい場合に、患者の希望にしたがって、延命治療をやめて医師の手助けにより、患者が自ら苦しめない方法で自死を行う形での安楽死を選択しますか。	N	3,100	656	1,004	1,046	263	131
	%	100.0	21.2	32.4	33.7	8.5	4.2
4. あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6 か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きい場合に、患者の希望にしたがって、延命治療をやめて医師が処置により患者を苦しめない方法で死亡させる形での安楽死を選択しますか。	N	3,100	651	1,016	1,056	252	125
	%	100.0	21.0	32.8	34.1	8.1	4.0
5. あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6 か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きく、さらにあなたが意思表示できないような重篤な状態の場合に医師や家族の判断で延命治療をやめ、医師が処置により患者を苦しめない方法で死亡させる形での安楽死を選択しますか。	N	3,100	788	1,060	997	159	96
	%	100.0	25.4	34.2	32.2	5.1	3.1

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q15. あなたの居住する市町村内または隣接する市町村にカジノを中心に宿泊施設、テーマパーク、商業施設などを一体的に整備する統合型リゾート（IR）が設置される場合に関し、ギャンブル依存や風紀の乱れが心配されている一方で、地域振興も期待されています。このことについてあなたの考えに近いものをお選びください。

表A15 カジノ等の統合型リゾートに対する考えについて

Q15	全体	1. Aに近い	2. ややAに近い	3. どちらともいえない	4. ややBに近い	5. Bに近い
1. 【A】カジノなどの問題はあるかもしれないが、IRによって自分の地域の経済や人口の交流が活性化されることを重視・評価して設	N 3,100	300	598	643	745	814

置には賛成する。 【B】 IR 内のカジノによってギャンブル依存や地域の風紀が乱れる心配があるので、設置には反対する。	%	100.0	9.7	19.3	20.7	24.0	26.3
2. 【A】 諸外国に既に IR が存在し、観光客などが多く来訪して栄えている実績があるのだから、治安や風紀に関する心配は過剰で、設置には賛成である。	N	3,100	250	569	812	801	668
【B】 経済効果があり、治安や風紀も問題ないとしても、外国人観光客にアピールすべき日本の良さはもっと別のものがあると思うので、設置には反対である	%	100.0	8.1	18.4	26.2	25.8	21.5
3. 【A】 地域が振興することは十分に見込まれるのであれば、カジノという手段にあまりこだわらず、経済効果を追求してもよいと思う。	N	3,100	296	794	755	639	616
【B】 例え経済的な効果が見込まれるとしても、そもそもカジノを含む IR の設置という手段によって地域振興を達成しようとするべきではないと思う。	%	100.0	9.5	25.6	24.4	20.6	19.9
4. 【A】 IR 設置の決定はある程度専門的で政策的な側面があるから、あまり細かなことまでこだわって設置時期が遅れるようなことがない方がいい。	N	3,100	170	423	937	758	812
【B】 IR 設置の意思決定のプロセスや業者、政治家、設置権限を持つ人々の設置への関与の透明性が確保されない限り、設置には賛成できない。	%	100.0	5.5	13.6	30.2	24.5	26.2

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

## B. 年齢別集計結果

Q1. あなたが、未来のあるべき姿と比較して、現在の日本の状況について、ある程度満足に近いレベルまで達成されていると思うものは、どれですか。（いくつでも）

表B1 現在の日本で満足している制度・政策について

Q1		全体	1. 高齢者福祉	2. IT・通信技術	3. 車の安全運転技術	4. 地球温暖化対策	5. 自然災害に対する防災対策	6. 選挙・政治制度	7. 医療・治療技術	8. 男女平等	
年齢	全体	N	3,100	297	844	699	156	228	114	756	314
		%	100.0	9.6	27.2	22.5	5.0	7.4	3.7	24.4	10.1
	20代	N	620	53	160	133	32	38	20	126	86
		%	100.0	8.5	25.8	21.5	5.2	6.1	3.2	20.3	13.9
	30代	N	620	56	152	148	37	50	22	136	56
		%	100.0	9.0	24.5	23.9	6.0	8.1	3.5	21.9	9.0
	40代	N	620	52	178	146	32	53	19	139	61
		%	100.0	8.4	28.7	23.5	5.2	8.5	3.1	22.4	9.8
	50代	N	620	61	172	129	18	39	24	152	48
		%	100.0	9.8	27.7	20.8	2.9	6.3	3.9	24.5	7.7
	60代	N	620	75	182	143	37	48	29	203	63
		%	100.0	12.1	29.4	23.1	6.0	7.7	4.7	32.7	10.2

Q1(続き)		全体	9. 子育て支援	10. 裁判制度	11. マスコミの報道姿勢	12. 救急搬送	13. 政府や自治体の情報公開	14. その他	15. わからない	
年齢	全体	N	3,100	338	204	126	767	148	87	913
		%	100.0	10.9	6.6	4.1	24.7	4.8	2.8	29.5
	20代	N	620	63	43	26	114	30	13	187
		%	100.0	10.2	6.9	4.2	18.4	4.8	2.1	30.2
		N	620	71	29	20	142	31	16	200

30代	%	100.0	11.5	4.7	3.2	22.9	5.0	2.6	32.3
	N	620	63	36	20	138	25	14	182
40代	%	100.0	10.2	5.8	3.2	22.3	4.0	2.3	29.4
	N	620	70	37	25	166	27	25	181
50代	%	100.0	11.3	6.0	4.0	26.8	4.4	4.0	29.2
	N	620	71	59	35	207	35	19	163
60代	%	100.0	11.5	9.5	5.6	33.4	5.6	3.1	26.3
	N	620	71	59	35	207	35	19	163

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q2. 今後医療費が増大した場合、健康保険で受けられる医療サービスの水準と、その費用の負担の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表B2 健康保険の受益と負担の関係について

Q2		全体	1. 今後、多少負担が増えても、現在の健康保険で受けられる医療サービスの水準を維持するべきだ	2. これ以上負担が増えないように、健康保険で受けられる医療サービスの水準をやや抑え気味にするべきだ	3. 負担を低くするために、健康保険で受けられる医療サービスの水準を抑制していくべきだ	4. その他	5. わからない	
年齢	全体	N	3,100	1,299	959	302	84	456
		%	100.0	41.9	30.9	9.7	2.7	14.7
	20代	N	620	250	178	72	17	103
		%	100.0	40.3	28.7	11.6	2.7	16.6
	30代	N	620	250	205	57	15	93
		%	100.0	40.3	33.1	9.2	2.4	15.0
	40代	N	620	236	216	62	14	92
		%	100.0	38.1	34.8	10.0	2.3	14.8
	50代	N	620	267	173	58	17	105
		%	100.0	43.1	27.9	9.4	2.7	16.9
	60代	N	620	296	187	53	21	63
		%	100.0	47.7	30.2	8.5	3.4	10.2

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q3. あなたは、今後、社会保障費の増大を抑制するため、政府が取り組みを強化するべきだと思うものはどれですか。（いくつでも）

表B3 政府が強化すべき取り組みについて

Q3		全体	1. 予防活動や定期的な健康診断の受診など、本人が病気や要介護にならないような行動を評価する制度（健康保険料や介護保険料や自己負担割合の軽減など）	2. 健診を受けない行動、疾病や予防活動を行わない等、病気や要介護を避けようとする行動にペナルティを与える制度（健康・介護保険料の増額や自己負担割合の引き上げなど）	3. 甘味の炭酸飲料や塩分を多く含む加工食品等に対して、疾病予防の見地から税金を課し、それらの食品等の摂取を抑制するように誘導する制度	4. 病院・診療所の治療成績や費用を情報公開し、患者が自分の判断で医療機関を選べるシステムの推進	5. DN Aなど遺伝子レベルでの検査や治療の拡大と推進	6. AIやICT技術、ロボット等の導入による、医療・福祉のコンピュータ化、情報化、ロボット化の推進	7. その他	8. わからない	
年齢	全	N	3,100	1,642	569	504	900	743	864	76	471
	体	%	100.0	53.0	18.4	16.3	29.0	24.0	27.9	2.5	15.2
	20	N	620	317	144	90	160	166	172	10	100
	代	%	100.0	51.1	23.2	14.5	25.8	26.8	27.7	1.6	16.1
	30	N	620	318	125	99	178	178	189	13	107
	代	%	100.0	51.3	20.2	16.0	28.7	28.7	30.5	2.1	17.3
	40	N	620	313	119	104	160	144	151	13	94
	代	%	100.0	50.5	19.2	16.8	25.8	23.2	24.4	2.1	15.2
	50	N	620	314	98	102	180	134	166	21	98
	代	%	100.0	50.6	15.8	16.5	29.0	21.6	26.8	3.4	15.8
	60	N	620	380	83	109	222	121	186	19	72
	代	%	100.0	61.3	13.4	17.6	35.8	19.5	30.0	3.1	11.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q4. あなたが、カウンセリングや心理相談など「心の健康」に関する治療や相談について、これまでもっとも多く経験したものについてあてはまるものをお答えください。

表B4-1 公立の医療機関（病院等）での治療や相談

Q4	全体	1. 非常に満足できた	2. やや満足できた	3. どちらともいえない	4. あまり満足できなかった	5. 全く満足できなかった	6. 治療や相談をしたことがない

年 齢	全 体	N	3,100	77	395	444	138	63	1,983
		%	100.0	2.5	12.7	14.3	4.5	2.0	64.0
	20 代	N	620	34	111	82	27	14	352
		%	100.0	5.5	17.9	13.2	4.4	2.3	56.8
	30 代	N	620	13	83	91	26	12	395
		%	100.0	2.1	13.4	14.7	4.2	1.9	63.7
	40 代	N	620	9	62	100	28	13	408
		%	100.0	1.5	10.0	16.1	4.5	2.1	65.8
	50 代	N	620	11	64	95	25	11	414
		%	100.0	1.8	10.3	15.3	4.0	1.8	66.8
	60 代	N	620	10	75	76	32	13	414
		%	100.0	1.6	12.1	12.3	5.2	2.1	66.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表B4-2 私立の医療機関（病院等）での治療や相談

Q4		全体	1. 非常に満足できた	2. やや満足できた	3. どちらともいえない	4. あまり満足できなかった	5. 全く満足できなかった	6. 治療や相談をしたことがない	
年 齢	全 体	N	3,100	83	445	512	158	61	1,841
		%	100.0	2.7	14.4	16.5	5.1	2.0	59.4
	20 代	N	620	23	105	106	32	11	343
		%	100.0	3.7	16.9	17.1	5.2	1.8	55.3
	30 代	N	620	11	77	106	28	15	383
		%	100.0	1.8	12.4	17.1	4.5	2.4	61.8
	40 代	N	620	18	71	107	33	14	377
		%	100.0	2.9	11.5	17.3	5.3	2.3	60.8
	50 代	N	620	13	93	98	30	10	376
		%	100.0	2.1	15.0	15.8	4.8	1.6	60.6
	60 代	N	620	18	99	95	35	11	362
		%	100.0	2.9	16.0	15.3	5.6	1.8	58.4

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表B4-3 公立の相談機関（センター、相談所）での相談

Q4		全体	1. 非常に満足できた	2. やや満足できた	3. どちらともいえない	4. あまり満足できなかった	5. 全く満足できなかった	6. 治療や相談をしたことがない	
年齢	全体	N	3,100	52	170	371	114	56	2,337
		%	100.0	1.7	5.5	12.0	3.7	1.8	75.4
	20代	N	620	23	62	63	21	10	441
		%	100.0	3.7	10.0	10.2	3.4	1.6	71.1
	30代	N	620	14	36	88	24	12	446
		%	100.0	2.3	5.8	14.2	3.9	1.9	71.9
	40代	N	620	5	29	77	31	10	468
		%	100.0	0.8	4.7	12.4	5.0	1.6	75.5
	50代	N	620	5	22	70	18	13	492
		%	100.0	0.8	3.5	11.3	2.9	2.1	79.4
	60代	N	620	5	21	73	20	11	490
		%	100.0	0.8	3.4	11.8	3.2	1.8	79.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表B4-4 私立や民間の相談機関（センター、相談所）での相談

Q4		全体	1. 非常に満足できた	2. やや満足できた	3. どちらともいえない	4. あまり満足できなかった	5. 全く満足できなかった	6. 治療や相談をしたことがない	
年齢	全体	N	3,100	56	149	342	99	47	2,407
		%	100.0	1.8	4.8	11.0	3.2	1.5	77.6
	20代	N	620	24	53	64	14	13	452
		%	100.0	3.9	8.5	10.3	2.3	2.1	72.9
	30代	N	620	13	32	70	25	7	473
		%	100.0	2.1	5.2	11.3	4.0	1.1	76.3
	40代	N	620	9	18	72	22	10	489
		%	100.0	1.5	2.9	11.6	3.5	1.6	78.9
	50代	N	620	5	24	66	23	8	494
		%	100.0	0.8	3.9	10.6	3.7	1.3	79.7
	60代	N	620	5	22	70	15	9	499
		%	100.0	0.8	3.5	11.3	2.4	1.5	80.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q5. あなたは、以下にあげる健康法や病気の治療法に関する情報源で、ある程度信用している情報源はどれですか。(いくつでも)

表B5 信用している情報源について

Q5			全体	1. NHKで放送されるテレビ・ラジオの健康番組による情報	2. 民放番組で放送されるテレビ・ラジオの健康番組による情報	3. 新聞の情報記事	4. 一般の雑誌・週刊誌などの情報記事	5. 健康専門雑誌の情報記事	6. 医師が執筆した書籍	7. 医師以外の方が執筆した書籍
年齢	全体	N	3,100	1,188	1,056	700	268	477	652	112
		%	100.0	38.3	34.1	22.6	8.6	15.4	21.0	3.6
	20代	N	620	178	182	92	64	80	148	32
		%	100.0	28.7	29.4	14.8	10.3	12.9	23.9	5.2
	30代	N	620	205	218	105	69	107	148	26
		%	100.0	33.1	35.2	16.9	11.1	17.3	23.9	4.2
	40代	N	620	212	203	115	51	78	109	21
		%	100.0	34.2	32.7	18.5	8.2	12.6	17.6	3.4
	50代	N	620	268	221	170	54	94	122	17
		%	100.0	43.2	35.6	27.4	8.7	15.2	19.7	2.7
	60代	N	620	325	232	218	30	118	125	16
		%	100.0	52.4	37.4	35.2	4.8	19.0	20.2	2.6

Q5(続き)			全体	8. インターネット上の情報(厚生労働省や専門機関の示すもの)	9. インターネット上の情報(民間企業の示すもの)	10. インターネット上の情報(個人のブログやSNSで発信されるもの)	11. 友人や知人の口コミでの情報	12. 広告やチラシ、DMによって提供される情報	13. その他	14. 特にない
年齢	全体	N	3,100	880	496	307	365	44	31	762
		%	100.0	28.4	16.0	9.9	11.8	1.4	1.0	24.6
	20代	N	620	212	118	75	83	10	7	140
		%	100.0	34.2	19.0	12.1	13.4	1.6	1.1	22.6
	30代	N	620	201	125	85	92	8	9	149
		%	100.0	32.4	20.2	13.7	14.8	1.3	1.5	24.0
	40代	N	620	169	91	64	68	9	4	186
		%	100.0	27.3	14.7	10.3	11.0	1.5	0.6	30.0

50代	N	620	154	92	48	68	10	7	158
	%	100.0	24.8	14.8	7.7	11.0	1.6	1.1	25.5
60代	N	620	144	70	35	54	7	4	129
	%	100.0	23.2	11.3	5.6	8.7	1.1	0.6	20.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q6. ガンや難病などに関して、いわゆる代替療法や民間療法（自宅で独自に食材摂取や手当を行うこと）について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表B6 代替医療や民間療法に関する考えについて

Q6		全体	1. 代替療法や民間療法は根拠が希薄で、自分なら選択しないと思う	2. 代替療法や民間療法は根拠が希薄だが、自分なら選択するかもしれない	3. 代替療法や民間療法はそれなりに効果を経験した人がいると思うので、自分なら選択するかもしれない	4. 代替療法や民間療法にはまだ医学では解明できない有効な効果が含まれていると思うので、自分なら選択すると思う	5. わからない	
年齢	全体	N	3,100	1,146	511	432	139	872
		%	100.0	37.0	16.5	13.9	4.5	28.1
	20代	N	620	191	118	98	30	183
		%	100.0	30.8	19.0	15.8	4.8	29.5
	30代	N	620	202	138	78	23	179
		%	100.0	32.6	22.3	12.6	3.7	28.9
	40代	N	620	220	91	95	23	191
		%	100.0	35.5	14.7	15.3	3.7	30.8
50代	N	620	269	81	74	25	171	
	%	100.0	43.4	13.1	11.9	4.0	27.6	
60代	N	620	264	83	87	38	148	
	%	100.0	42.6	13.4	14.0	6.1	23.9	

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q7. 未来型の医療として、あなたがイメージできるのは、次のうちどれですか。

表B7 未来型医療のイメージについて

Q7		全体	1. 待ち時間ゼロでいつでも受診できる医療機関	2. 全く家から出なくとも、精密な検査や診療、治療が受けられること	3. 治療や手術などの期間や時間が大幅に短縮されること（1回や1日で完治など）	4. 治療や手術、検査などで全く痛みを感じないようになれること	5. 自分の遺伝子から健康な臓器を複製し、病気になった部分と差し替えることができること	6. 常に日常生活の中から身体の情報収集し、自覚症状が出る前に疾病の警告が得られること	
年齢	全体	N	3,100	1,119	1,001	1,399	1,313	1,026	811
		%	100.0	36.1	32.3	45.1	42.4	33.1	26.2
	20代	N	620	211	194	276	268	218	163
		%	100.0	34.0	31.3	44.5	43.2	35.2	26.3
	30代	N	620	237	214	299	285	222	174
		%	100.0	38.2	34.5	48.2	46.0	35.8	28.1
	40代	N	620	218	205	274	245	210	144
		%	100.0	35.2	33.1	44.2	39.5	33.9	23.2
	50代	N	620	222	182	256	241	194	164
		%	100.0	35.8	29.4	41.3	38.9	31.3	26.5
60代	N	620	231	206	294	274	182	166	
	%	100.0	37.3	33.2	47.4	44.2	29.4	26.8	

Q7(続き)		全体	7. 老化をコントロールし、長期間にわたって若々しい身体の状態が維持される技術	8. 視力や聴力、筋力を代替する超小型ハイテク機器を身体に埋め込む技術	9. 人に代わって、AIやロボットが診察する病院の登場	10. 病院ではなく自宅で、自分で行うことができる機器の登場	11. その他	12. わからない	
年齢	全体	N	3,100	661	574	646	531	15	331
		%	100.0	21.3	18.5	20.8	17.1	0.5	10.7
	20代	N	620	124	129	144	111	2	69
		%	100.0	20.0	20.8	23.2	17.9	0.3	11.1
	30代	N	620	121	132	148	116	3	62
		%	100.0	19.5	21.3	23.9	18.7	0.5	10.0
		N	620	148	112	145	115	2	71

40代	%	100.0	23.9	18.1	23.4	18.5	0.3	11.5
	N	620	126	108	109	88	5	69
50代	%	100.0	20.3	17.4	17.6	14.2	0.8	11.1
	N	620	142	93	100	101	3	60
60代	%	100.0	22.9	15.0	16.1	16.3	0.5	9.7
	N	620	142	93	100	101	3	60

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q8. 医療技術や製薬技術の進歩のために、あなたの体の情報や診療・検査結果のデータを第三者が利用することについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表B8 医療データの第三者利用について

Q8		全体	1. 個人が特定されないのであれば、予め同意がなくてもDNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	2. 個人が特定されないのであれば、予め同意をしたもとで、DNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	3. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意がなくても自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	4. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意をしたもとで、自由に使って、医療製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	5. 例え個人が特定されなくとも、個人の身体、治療にかかわるデータを第三者が利用するには反対である。	6. わかからない／この中にあるものはない	
年齢	全体	N	3,100	522	1,066	187	411	274	640
		%	100.0	16.8	34.4	6.0	13.3	8.8	20.6
	20代	N	620	113	220	52	73	35	127
		%	100.0	18.2	35.5	8.4	11.8	5.6	20.5
	30代	N	620	97	250	37	67	45	124
		%	100.0	15.6	40.3	6.0	10.8	7.3	20.0
	40代	N	620	102	194	43	92	55	134
		%	100.0	16.5	31.3	6.9	14.8	8.9	21.6
	50代	N	620	110	184	30	89	65	142
		%	100.0	17.7	29.7	4.8	14.4	10.5	22.9
		N	620	100	218	25	90	74	113

60代	%	100.0	16.1	35.2	4.0	14.5	11.9	18.2
-----	---	-------	------	------	-----	------	------	------

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q9. AI（人工知能）による医療診断について、あなたの考えに近い（ある程度以上同意する）ものはどれですか。（いくつでも）

表B9 AIによる医療診断について

Q9		全体	1. 根拠が明示され、結果に納得ができる	2. 待ち時間のストレスを緩和できる	3. 治療時間の短縮化が期待できる	4. 金銭的コストを改善できる	5. 人手不足の問題を解消できる	6. 地域格差の問題を解消できる	7. 間違っ た診断で 不快にな らなくて 済む	
年齢	全体	N	3,100	655	1,044	990	1,099	1,674	1,013	496
		%	100.0	21.1	33.7	31.9	35.5	54.0	32.7	16.0
	20代	N	620	125	226	191	222	370	198	99
		%	100.0	20.2	36.5	30.8	35.8	59.7	31.9	16.0
	30代	N	620	135	246	219	248	367	207	109
		%	100.0	21.8	39.7	35.3	40.0	59.2	33.4	17.6
	40代	N	620	124	196	188	219	321	208	96
		%	100.0	20.0	31.6	30.3	35.3	51.8	33.5	15.5
	50代	N	620	122	189	179	208	312	205	91
		%	100.0	19.7	30.5	28.9	33.5	50.3	33.1	14.7
	60代	N	620	149	187	213	202	304	195	101
		%	100.0	24.0	30.2	34.4	32.6	49.0	31.5	16.3

Q9(続き)		全体	8. 診断に対しての責任の所在に不安を感じる	9. 自分の感情や状況を理解してもらえないと思えない	10. 複雑な症例は診断しきれないと思う	11. 医師がAIに依存して本来の役割を果たせなくなる	12. 医師が人工知能を使いこなせないと思う	13. その他	14. わからない	
年齢	全体	N	3,100	795	773	852	537	376	20	343
		%	100.0	25.6	24.9	27.5	17.3	12.1	0.6	11.1
	20代	N	620	148	148	162	118	71	5	64
		%	100.0	23.9	23.9	26.1	19.0	11.5	0.8	10.3
		N	620	168	154	161	105	62	4	73
		%	100.0	27.1	24.8	26.0	16.9	10.0	0.6	11.8

30代	%	100.0	27.1	24.8	26.0	16.9	10.0	0.6	11.8
	N	620	145	159	164	84	68	3	69
40代	%	100.0	23.4	25.6	26.5	13.5	11.0	0.5	11.1
	N	620	162	138	182	97	70	7	77
50代	%	100.0	26.1	22.3	29.4	15.6	11.3	1.1	12.4
	N	620	172	174	183	133	105	1	60
60代	%	100.0	27.7	28.1	29.5	21.5	16.9	0.2	9.7
	N	620	172	174	183	133	105	1	60

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q10. あなたが、次のなかで、A I（人工知能）やロボットに任せてもよいと思う診療行為はどれですか。（いくつでも）

表B10 A Iに任せてもよい診療行為について

Q10		全体	1. 症状から訪れるべき医療機関や診療科の選択や候補の提示	2. 初診や再診の予約の受付	3. 初診の際の問診	4. 身長、体重、血圧、視力、聴力、心拍数、体温などの測定	5. 処方箋に基づく調剤や薬の給付	6. 診療や投薬の代金支払いの会計	7. 健康診断書や診療内容の証明書の発行	
年齢	全体	N	3,100	1,386	1,996	1,196	2,127	999	1,578	1,417
		%	100.0	44.7	64.4	38.6	68.6	32.2	50.9	45.7
	20代	N	620	249	382	242	395	165	321	267
		%	100.0	40.2	61.6	39.0	63.7	26.6	51.8	43.1
	30代	N	620	274	421	255	440	209	332	291
		%	100.0	44.2	67.9	41.1	71.0	33.7	53.5	46.9
	40代	N	620	258	396	208	415	195	286	259
		%	100.0	41.6	63.9	33.5	66.9	31.5	46.1	41.8
	50代	N	620	304	399	232	426	221	316	295
		%	100.0	49.0	64.4	37.4	68.7	35.6	51.0	47.6
	60代	N	620	301	398	259	451	209	323	305
		%	100.0	48.5	64.2	41.8	72.7	33.7	52.1	49.2

Q10(続き)		全体		8. 一般の健康診断の結果の分析と本人への告知・説明と保健指導	9. 患者からの病状や治療方針等の質問・相談に対する回答	10. 入院時の病室の巡回、体温測定、病状の確認	11. レントゲンの撮影	12. 採血	13. 注射や点滴	14. 歯科治療
年齢	全 体	N	3,100	492	262	597	1,039	395	310	146
		%	100.0	15.9	8.5	19.3	33.5	12.7	10.0	4.7
	20 代	N	620	91	46	102	209	70	66	42
		%	100.0	14.7	7.4	16.5	33.7	11.3	10.6	6.8
	30 代	N	620	103	47	126	190	78	64	31
		%	100.0	16.6	7.6	20.3	30.6	12.6	10.3	5.0
	40 代	N	620	102	45	98	206	72	58	34
		%	100.0	16.5	7.3	15.8	33.2	11.6	9.4	5.5
	50 代	N	620	88	53	117	214	78	56	17
		%	100.0	14.2	8.5	18.9	34.5	12.6	9.0	2.7
	60 代	N	620	108	71	154	220	97	66	22
		%	100.0	17.4	11.5	24.8	35.5	15.6	10.6	3.5

Q10(続き)		全体		15. 外科手術(開腹を伴うもの)	16. 死亡の判定	17. ガンの告知と治療方針の説明	18. その他	19. わからない
年齢	全体	N	3,100	118	197	153	15	310
		%	100.0	3.8	6.4	4.9	0.5	10.0
	20代	N	620	25	44	28	3	73
		%	100.0	4.0	7.1	4.5	0.5	11.8
	30代	N	620	30	43	34	2	57
		%	100.0	4.8	6.9	5.5	0.3	9.2
	40代	N	620	24	38	41	3	64
		%	100.0	3.9	6.1	6.6	0.5	10.3
	50代	N	620	12	35	21	3	67
		%	100.0	1.9	5.6	3.4	0.5	10.8
	60代	N	620	27	37	29	4	49
		%	100.0	4.4	6.0	4.7	0.6	7.9

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q11. あなたの現在の健康状態はいかがですか。（1つだけ）

表B11 現在の健康状態について

Q11		全体	1. よい	2. まあよい	3. ふつう	4. あまりよくない	5. よくない	
年齢	全体	N	3,100	560	930	1,139	377	94
		%	100.0	18.1	30.0	36.7	12.2	3.0
	20代	N	620	178	207	154	63	18
		%	100.0	28.7	33.4	24.8	10.2	2.9
	30代	N	620	143	201	203	55	18
		%	100.0	23.1	32.4	32.7	8.9	2.9
	40代	N	620	87	189	250	75	19
		%	100.0	14.0	30.5	40.3	12.1	3.1
	50代	N	620	75	154	279	93	19
		%	100.0	12.1	24.8	45.0	15.0	3.1
	60代	N	620	77	179	253	91	20
		%	100.0	12.4	28.9	40.8	14.7	3.2

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q12. あなたが健康を維持するために行っていることをお選びください。（いくつでも）

表B12 健康維持のための行動について

Q12		全体	1. 職場や市町村の実施する健康診断を必ず受ける	2. 自発的に人間ドックを受診する	3. 定期的に運動・フィットネス・体操等を継続する	4. つねに食事に気をつけ、望ましい食生活を実践する	5. レジャーや旅行などの余暇活動の充実をさせている	6. スマホやパソコン等の健康サポートアプリを利用する	
年齢	全体	N	3,100	1,186	308	878	815	546	225
		%	100.0	38.3	9.9	28.3	26.3	17.6	7.3
	20代	N	620	139	26	188	154	139	55
		%	100.0	22.4	4.2	30.3	24.8	22.4	8.9
	30代	N	620	203	57	147	130	110	51
		%	100.0	32.7	9.2	23.7	21.0	17.7	8.2
	40代	N	620	259	53	166	135	87	40
		%	100.0	41.8	8.5	26.8	21.8	14.0	6.5
	50代	N	620	279	81	149	155	82	37
		%	100.0	45.0	13.1	24.0	25.0	13.2	6.0
	60代	N	620	306	91	228	241	128	42
		%	100.0	49.4	14.7	36.8	38.9	20.6	6.8

Q12(続き)			全体	7. 新聞・テレビ・雑誌などで健康の情報・知識を増やすようにしている	8. 油分・塩分を取りすぎないようにする	9. 酒・タバコを控えている	10. 過労に注意し、睡眠、休養を十分とるよう心がけている	11. あてはまるものはない
年齢	全体	N	3,100	479	841	733	1,116	488
		%	100.0	15.5	27.1	23.6	36.0	15.7
	20代	N	620	59	121	158	209	131
		%	100.0	9.5	19.5	25.5	33.7	21.1
	30代	N	620	78	135	144	221	113
		%	100.0	12.6	21.8	23.2	35.6	18.2
	40代	N	620	86	157	119	211	112
		%	100.0	13.9	25.3	19.2	34.0	18.1
	50代	N	620	117	172	139	220	83
		%	100.0	18.9	27.7	22.4	35.5	13.4
	60代	N	620	139	256	173	255	49
		%	100.0	22.4	41.3	27.9	41.1	7.9

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q13. 今後、AIやロボット技術の進展と介護人材の不足に伴って、ヒト型AIロボットが介護の世話をを行う時代が来るかもしれません。この時、あなたがヒト型AIロボットによって介護してもらった方が良いか従来の介護士（人）によって介護してもらった方が良いかを選んでください。

表B13-1 食事の介助

Q13			全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い
年齢	全体	N	3,100	247	443	1,202	764	444
		%	100.0	8.0	14.3	38.8	24.6	14.3
	20代	N	620	60	91	206	154	109
		%	100.0	9.7	14.7	33.2	24.8	17.6
	30代	N	620	53	93	227	162	85
		%	100.0	8.5	15.0	36.6	26.1	13.7
	40代	N	620	44	84	260	158	74
		%	100.0	7.1	13.5	41.9	25.5	11.9
		N	620	41	88	266	136	89

	50代	%	100.0	6.6	14.2	42.9	21.9	14.4
	60代	N	620	49	87	243	154	87
		%	100.0	7.9	14.0	39.2	24.8	14.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表B13-2 入浴の介助

Q13		全体	1. ロボットのほうが良い	2. どちらかと言えばロボットのほうが良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言え ば、人のほうが良い	5. 人のほうが良い	
年齢	全体	N	3,100	551	820	972	449	308
		%	100.0	17.8	26.5	31.4	14.5	9.9
	20代	N	620	122	143	172	100	83
		%	100.0	19.7	23.1	27.7	16.1	13.4
	30代	N	620	123	168	185	88	56
		%	100.0	19.8	27.1	29.8	14.2	9.0
	40代	N	620	106	188	196	78	52
		%	100.0	17.1	30.3	31.6	12.6	8.4
	50代	N	620	101	158	210	99	52
		%	100.0	16.3	25.5	33.9	16.0	8.4
	60代	N	620	99	163	209	84	65
		%	100.0	16.0	26.3	33.7	13.5	10.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表B13-3 整容の介助

Q13		全体	1. ロボットのほうが良い	2. どちらかと言えばロボットのほうが良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言え ば、人のほうが良い	5. 人のほうが良い	
年齢	全体	N	3,100	267	451	1,599	521	262
		%	100.0	8.6	14.5	51.6	16.8	8.5
	20代	N	620	59	91	269	127	74
		%	100.0	9.5	14.7	43.4	20.5	11.9
	30代	N	620	66	99	289	116	50
		%	100.0	10.6	16.0	46.6	18.7	8.1
	40代	N	620	49	94	354	85	38
		%	100.0	7.9	15.2	57.1	13.7	6.1
		N	620	44	85	356	94	41

50代	%	100.0	7.1	13.7	57.4	15.2	6.6
60代	N	620	49	82	331	99	59
	%	100.0	7.9	13.2	53.4	16.0	9.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表B13-4 移動の介助

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い
年齢	全体	N 3,100	552	873	1,202	307	166
		% 100.0	17.8	28.2	38.8	9.9	5.4
	20代	N 620	120	162	218	74	46
		% 100.0	19.4	26.1	35.2	11.9	7.4
	30代	N 620	117	171	234	65	33
		% 100.0	18.9	27.6	37.7	10.5	5.3
	40代	N 620	114	170	248	62	26
		% 100.0	18.4	27.4	40.0	10.0	4.2
	50代	N 620	92	181	257	59	31
		% 100.0	14.8	29.2	41.5	9.5	5.0
	60代	N 620	109	189	245	47	30
		% 100.0	17.6	30.5	39.5	7.6	4.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表B13-5 トイレの介助

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い
年齢	全体	N 3,100	751	1,019	865	265	200
		% 100.0	24.2	32.9	27.9	8.5	6.5
	20代	N 620	169	169	160	65	57
		% 100.0	27.3	27.3	25.8	10.5	9.2
	30代	N 620	173	208	157	43	39
		% 100.0	27.9	33.5	25.3	6.9	6.3
	40代	N 620	149	205	177	55	34
		% 100.0	24.0	33.1	28.5	8.9	5.5
		N 620	131	215	186	53	35

50代	%	100.0	21.1	34.7	30.0	8.5	5.6
60代	N	620	129	222	185	49	35
	%	100.0	20.8	35.8	29.8	7.9	5.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表B13-6 話し相手

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い	
年齢	全体	N	3,100	96	143	886	1,000	975
		%	100.0	3.1	4.6	28.6	32.3	31.5
	20代	N	620	19	29	139	183	250
		%	100.0	3.1	4.7	22.4	29.5	40.3
	30代	N	620	21	26	162	189	222
		%	100.0	3.4	4.2	26.1	30.5	35.8
	40代	N	620	12	33	189	199	187
		%	100.0	1.9	5.3	30.5	32.1	30.2
	50代	N	620	22	29	207	199	163
		%	100.0	3.5	4.7	33.4	32.1	26.3
	60代	N	620	22	26	189	230	153
		%	100.0	3.5	4.2	30.5	37.1	24.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表B13-7 ゲームや娯楽の相手

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い	
年齢	全体	N	3,100	221	454	1,455	544	426
		%	100.0	7.1	14.6	46.9	17.5	13.7
	20代	N	620	41	71	235	136	137
		%	100.0	6.6	11.5	37.9	21.9	22.1
	30代	N	620	46	74	282	117	101
		%	100.0	7.4	11.9	45.5	18.9	16.3
	40代	N	620	38	101	315	108	58
		%	100.0	6.1	16.3	50.8	17.4	9.4
		N	620	50	90	318	88	74

50代	%	100.0	8.1	14.5	51.3	14.2	11.9
60代	N	620	46	118	305	95	56
	%	100.0	7.4	19.0	49.2	15.3	9.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表B13-8 部屋の掃除

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い	
年齢	全体	N	3,100	765	864	1,203	152	116
		%	100.0	24.7	27.9	38.8	4.9	3.7
	20代	N	620	186	146	220	39	29
		%	100.0	30.0	23.5	35.5	6.3	4.7
	30代	N	620	160	175	235	27	23
		%	100.0	25.8	28.2	37.9	4.4	3.7
	40代	N	620	142	166	268	23	21
		%	100.0	22.9	26.8	43.2	3.7	3.4
	50代	N	620	131	183	252	34	20
		%	100.0	21.1	29.5	40.6	5.5	3.2
	60代	N	620	146	194	228	29	23
		%	100.0	23.5	31.3	36.8	4.7	3.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表B13-9 薬の管理

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い	
年齢	全体	N	3,100	507	697	1,269	379	248
		%	100.0	16.4	22.5	40.9	12.2	8.0
	20代	N	620	121	132	211	87	69
		%	100.0	19.5	21.3	34.0	14.0	11.1
	30代	N	620	108	144	243	78	47
		%	100.0	17.4	23.2	39.2	12.6	7.6
	40代	N	620	88	133	284	76	39
		%	100.0	14.2	21.5	45.8	12.3	6.3
		N	620	92	129	286	65	48

50代	%	100.0	14.8	20.8	46.1	10.5	7.7
	N	620	98	159	245	73	45
60代	%	100.0	15.8	25.6	39.5	11.8	7.3
	N	620	98	159	245	73	45

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表B13-10 お金の管理

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い	
年齢	全体	N	3,100	686	758	1,074	306	276
		%	100.0	22.1	24.5	34.6	9.9	8.9
	20代	N	620	154	145	184	64	73
		%	100.0	24.8	23.4	29.7	10.3	11.8
	30代	N	620	139	169	209	54	49
		%	100.0	22.4	27.3	33.7	8.7	7.9
	40代	N	620	133	145	243	55	44
		%	100.0	21.5	23.4	39.2	8.9	7.1
	50代	N	620	134	146	225	65	50
		%	100.0	21.6	23.5	36.3	10.5	8.1
	60代	N	620	126	153	213	68	60
		%	100.0	20.3	24.7	34.4	11.0	9.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q14. 近年、終末期医療に関して「安楽死」「尊厳死」「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの問題が話題になっていますが、それぞれについて、あてはまるものをお選びください。

表B14-1 あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎えることが避けられない状態にある場合、「延命治療」（ここでは治癒にはつながらず、死期を先延ばしするような処置であるものとする）を選択しますか。

Q14		全体	1. 積極的に選択する	2. どちらかといえば選択する	3. どちらとも言えない	4. どちらかといえ ば選択しない	5. 決して選 択しない	
年齢	全体	N	3,100	128	354	860	952	806
		%	100.0	4.1	11.4	27.7	30.7	26.0
	20代	N	620	38	94	191	163	134
		%	100.0	6.1	15.2	30.8	26.3	21.6

30代	N	620	19	101	181	200	119
	%	100.0	3.1	16.3	29.2	32.3	19.2
40代	N	620	24	62	188	195	151
	%	100.0	3.9	10.0	30.3	31.5	24.4
50代	N	620	25	41	174	193	187
	%	100.0	4.0	6.6	28.1	31.1	30.2
60代	N	620	22	56	126	201	215
	%	100.0	3.5	9.0	20.3	32.4	34.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表B14-2 あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にある場合、「尊厳死」（ここでは、延命治療をやめて痛みを緩和する処置にとどめて、自然死を迎えるものとする）を選択しますか。

Q14		全体	1. 積極的に 選択する	2. どちらかとい えば選択する	3. どちらとも 言えない	4. どちらかとい えば選択しない	5. 決して選 択しない	
年 齢	全 体	N	3,100	742	1,130	906	212	110
		%	100.0	23.9	36.5	29.2	6.8	3.5
	20 代	N	620	146	219	198	33	24
		%	100.0	23.5	35.3	31.9	5.3	3.9
	30 代	N	620	105	243	192	55	25
		%	100.0	16.9	39.2	31.0	8.9	4.0
	40 代	N	620	131	228	191	42	28
		%	100.0	21.1	36.8	30.8	6.8	4.5
	50 代	N	620	170	201	193	41	15
		%	100.0	27.4	32.4	31.1	6.6	2.4
	60 代	N	620	190	239	132	41	18
		%	100.0	30.6	38.5	21.3	6.6	2.9

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表B14-3 あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きい場合に、患者の希望にしたがって、延命治療をやめて医師の手助けにより、患者が自ら苦しまない方法で自死を行う形での安楽死を選択しますか。

Q14		全体	1. 積極的に選 択する	2. どちらかとい えば選択する	3. どちらと も言えない	4. どちらかとい えば選択しない	5. 決して選 択しない	
年	全体	N	3,100	656	1,004	1,046	263	131

年齢	20代	N	620	21.2	32.4	33.7	8.5	4.2
		%	100.0	20.3	32.7	32.1	10.6	4.2
30代	N	620	117	194	216	62	31	
	%	100.0	18.9	31.3	34.8	10.0	5.0	
40代	N	620	127	181	233	50	29	
	%	100.0	20.5	29.2	37.6	8.1	4.7	
50代	N	620	135	191	229	43	22	
	%	100.0	21.8	30.8	36.9	6.9	3.5	
60代	N	620	151	235	169	42	23	
	%	100.0	24.4	37.9	27.3	6.8	3.7	

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表B14-4 あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きい場合に、患者の希望にしたがって、延命治療をやめて医師が処置により患者を苦しめない方法で死亡させる形での安楽死を選択しますか。

Q14		全体	1. 積極的に 選択する	2. どちらかとい えば選択する	3. どちらとも 言えない	4. どちらかとい えば選択しない	5. 決して選 択しない	
年齢	全体	N	3,100	651	1,016	1,056	252	125
		%	100.0	21.0	32.8	34.1	8.1	4.0
	20代	N	620	135	188	201	71	25
		%	100.0	21.8	30.3	32.4	11.5	4.0
	30代	N	620	105	204	218	66	27
		%	100.0	16.9	32.9	35.2	10.6	4.4
	40代	N	620	120	191	244	39	26
		%	100.0	19.4	30.8	39.4	6.3	4.2
	50代	N	620	142	196	229	35	18
		%	100.0	22.9	31.6	36.9	5.6	2.9
	60代	N	620	149	237	164	41	29
		%	100.0	24.0	38.2	26.5	6.6	4.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表B14-5 あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きく、さらにあなたが意思表示できないような重篤な状態の場合に医師や家族の判断で延命治療をやめ、医師が処置により患者を苦しめない方法で死亡させる形での安楽

死を選択しますか。

Q14		全体	1. 積極的に 選択する	2. どちらかとい えば選択する	3. どちらとも 言えない	4. どちらかとい えば選択しない	5. 決して選 択しない	
年 齢	全 体	N	3,100	788	1,060	997	159	96
		%	100.0	25.4	34.2	32.2	5.1	3.1
	20 代	N	620	149	192	221	38	20
		%	100.0	24.0	31.0	35.6	6.1	3.2
	30 代	N	620	149	205	207	41	18
		%	100.0	24.0	33.1	33.4	6.6	2.9
	40 代	N	620	131	208	231	23	27
		%	100.0	21.1	33.5	37.3	3.7	4.4
	50 代	N	620	168	216	193	28	15
		%	100.0	27.1	34.8	31.1	4.5	2.4
	60 代	N	620	191	239	145	29	16
		%	100.0	30.8	38.5	23.4	4.7	2.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q15. あなたの居住する市町村内または隣接する市町村にカジノを中心に宿泊施設、テーマパーク、商業施設などを一体的に整備する統合型リゾート（IR）が設置される場合に関し、ギャンブル依存や風紀の乱れが心配されている一方で、地域振興も期待されています。このことについてあなたの考えに近いものをお選びください。

表B15-1【A】カジノなどの問題はあるかもしれないが、IRによって自分の地域の経済や人口の交流が活性化されることを重視・評価して設置には賛成する。【B】IR内のカジノによってギャンブル依存や地域の風紀が乱れる心配があるので、設置には反対する。

Q15		全体	1.A に 近い	2. やや A に近い	3. どちらと もいえない	4. やや B に近い	5.B に 近い	
年 齢	全 体	N	3,100	300	598	643	745	814
		%	100.0	9.7	19.3	20.7	24.0	26.3
	20 代	N	620	61	149	150	143	117
		%	100.0	9.8	24.0	24.2	23.1	18.9
	30 代	N	620	67	137	149	137	130
		%	100.0	10.8	22.1	24.0	22.1	21.0
	40 代	N	620	68	120	143	149	140
		%	100.0	11.0	19.4	23.1	24.0	22.6
		N	620	56	110	118	164	172

50代	%	100.0	9.0	17.7	19.0	26.5	27.7
	N	620	48	82	83	152	255
60代	%	100.0	7.7	13.2	13.4	24.5	41.1
	N	620	48	82	83	152	255

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表B15-2【A】諸外国に既にIRが存在し、観光客などが多く来訪して栄えている実績があるのだから、治安や風紀に関する心配は過剰で、設置には賛成である。【B】経済効果があり、治安や風紀も問題ないとしても、外国人観光客にアピールすべき日本の良さはもっと別のものがあると思うので、設置には反対である。

Q15		全体	1. A に近い	2. やや A に近い	3. どちらともいえない	4. やや B に近い	5. B に近い	
年齢	全体	N	3,100	250	569	812	801	668
		%	100.0	8.1	18.4	26.2	25.8	21.5
	20代	N	620	68	125	180	148	99
		%	100.0	11.0	20.2	29.0	23.9	16.0
	30代	N	620	49	135	183	166	87
		%	100.0	7.9	21.8	29.5	26.8	14.0
	40代	N	620	51	114	174	161	120
		%	100.0	8.2	18.4	28.1	26.0	19.4
	50代	N	620	44	100	160	170	146
		%	100.0	7.1	16.1	25.8	27.4	23.5
	60代	N	620	38	95	115	156	216
		%	100.0	6.1	15.3	18.5	25.2	34.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表B15-3【A】地域が振興することは十分に見込まれるのであれば、カジノという手段にあまりこだわらず、経済効果を追求してもよいと思う。【B】例え経済的な効果が見込まれるとしても、そもそもカジノを含むIRの設置という手段によって地域振興を達成しようとするべきではないと思う。

Q15		全体	1. A に近い	2. やや A に近い	3. どちらともいえない	4. やや B に近い	5. B に近い	
年齢	全体	N	3,100	296	794	755	639	616
		%	100.0	9.5	25.6	24.4	20.6	19.9
		N	620	75	184	175	100	86

20代	%	100.0	12.1	29.7	28.2	16.1	13.9
	N	620	62	176	174	124	84
30代	%	100.0	10.0	28.4	28.1	20.0	13.5
	N	620	63	174	156	124	103
40代	%	100.0	10.2	28.1	25.2	20.0	16.6
	N	620	51	147	144	148	130
50代	%	100.0	8.2	23.7	23.2	23.9	21.0
	N	620	45	113	106	143	213
60代	%	100.0	7.3	18.2	17.1	23.1	34.4
	N	620	45	113	106	143	213

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表B15-4【A】IR設置の決定はある程度専門的で政策的な側面があるから、あまり細かなことまでこだわって設置時期が遅れるようなことがない方がいい。【B】IR設置の意思決定のプロセスや業者、政治家、設置権限を持つ人々の設置への関与の透明性が確保されない限り、設置には賛成できない。

Q15		全体	1. A に近い	2. やや A に近い	3. どちらともいえない	4. やや B に近い	5. B に近い	
年齢	全体	N	3,100	170	423	937	758	812
		%	100.0	5.5	13.6	30.2	24.5	26.2
	20代	N	620	33	94	225	154	114
		%	100.0	5.3	15.2	36.3	24.8	18.4
	30代	N	620	44	97	212	146	121
		%	100.0	7.1	15.6	34.2	23.5	19.5
	40代	N	620	32	82	203	159	144
		%	100.0	5.2	13.2	32.7	25.6	23.2
	50代	N	620	27	85	183	140	185
		%	100.0	4.4	13.7	29.5	22.6	29.8
	60代	N	620	34	65	114	159	248
		%	100.0	5.5	10.5	18.4	25.6	40.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

## C. 男女別集計結果

Q1. あなたが、未来のあるべき姿と比較して、現在の日本の状況について、ある程度満足に近いレベルまで達成されていると思うものは、どれですか。（いくつでも）

表C1 現在の日本で満足している制度・政策について

Q1	全体	1. 高齢者福祉	2. IT・通信技術	3. 車の安全運転技術	4. 地球温暖化対策	5. 自然災害に対する防災対策	6. 選挙・政治制度	7. 医療・治療技術	8. 男女平等	
		全体	N	3,100	297	844	699	156	228	114
	%	100.0	9.6	27.2	22.5	5.0	7.4	3.7	24.4	10.1
男性	N	1,550	154	439	388	98	134	70	389	193
	%	100.0	9.9	28.3	25.0	6.3	8.6	4.5	25.1	12.5
女性	N	1,550	143	405	311	58	94	44	367	121
	%	100.0	9.2	26.1	20.1	3.7	6.1	2.8	23.7	7.8

Q1(続き)	全体	9. 子育て支援	10. 裁判制度	11. マスコミの報道姿勢	12. 救急搬送	13. 政府や自治体の情報公開	14. その他	15. わからない	
		全体	N	3,100	338	204	126	767	148
	%	100.0	10.9	6.6	4.1	24.7	4.8	2.8	29.5
男性	N	1,550	146	118	77	418	85	52	416
	%	100.0	9.4	7.6	5.0	27.0	5.5	3.4	26.8
女性	N	1,550	192	86	49	349	63	35	497
	%	100.0	12.4	5.5	3.2	22.5	4.1	2.3	32.1

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q2. 今後医療費が増大した場合、健康保険で受けられる医療サービスの水準と、その費用

の負担の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表C2 健康保険の受益と負担の関係について

Q2		全体	1. 今後、多少負担が増えても、現在の健康保険で受けられる医療サービスの水準を維持するべきだ	2. これ以上負担が増えないように、健康保険で受けられる医療サービスの水準をやや抑え気味にするべきだ	3. 負担を低くするために、健康保険で受けられる医療サービスの水準を抑制していくべきだ	4. その他	5. わからない
全体	N	3,100	1,299	959	302	84	456
	%	100.0	41.9	30.9	9.7	2.7	14.7
男性	N	1,550	636	458	180	45	231
	%	100.0	41.0	29.5	11.6	2.9	14.9
女性	N	1,550	663	501	122	39	225
	%	100.0	42.8	32.3	7.9	2.5	14.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q3. あなたは、今後、社会保障費の増大を抑制するため、政府が取り組みを強化するべきだと思うものはどれですか。（いくつでも）

表C3 政府が強化すべき取り組みについて

Q3		全体	1. 予防活動や定期的な健康診断の受診など、本人が病気や要介護にならないような行動を評価する制度（健康保険料や介護保険料や自己負担割合の軽減など）	2. 健診を受けない行動、疾病や予防活動を行わない等、病気や要介護を避けようとする行動にペナルティを与える制度（健康・介護保険料の増額や自己負担割合の引き上げなど）	3. 甘味の炭酸飲料や塩分を多く含む加工食品等に対して、疾病予防の見地から税金を課し、それらの食品等の摂取を抑制するよう誘導する制度	4. 病院・診療所の治療成績や費用や情報公開し、患者が自分の判断で医療機関を選べるシステムの推進	5. DN Aなど遺伝子レベルでの検査や治療の拡大と推進	6. AIやICT技術、ロボット等の導入による、医療・福祉のコンピュータ化、情報化、ロボット化の推進	7. その他	8. わからない
全体	N	3,100	1,642	569	504	900	743	864	76	471

	%	100.0	53.0	18.4	16.3	29.0	24.0	27.9	2.5	15.2
男性	N	1,550	751	360	225	392	364	465	49	259
	%	100.0	48.5	23.2	14.5	25.3	23.5	30.0	3.2	16.7
女性	N	1,550	891	209	279	508	379	399	27	212
	%	100.0	57.5	13.5	18.0	32.8	24.5	25.7	1.7	13.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q4. あなたが、カウンセリングや心理相談など「心の健康」に関する治療や相談について、これまでもっとも多く経験したものについてあてはまるものをお答えください。

表C4-1 公立の医療機関（病院等）での治療や相談

Q4		全体	1. 非常に満足できた	2. やや満足できた	3. どちらともいえない	4. あまり満足できなかった	5. 全く満足できなかった	6. 治療や相談をしたことがない
全体	N	3,100	77	395	444	138	63	1,983
	%	100.0	2.5	12.7	14.3	4.5	2.0	64.0
男性	N	1,550	50	220	257	69	35	919
	%	100.0	3.2	14.2	16.6	4.5	2.3	59.3
女性	N	1,550	27	175	187	69	28	1,064
	%	100.0	1.7	11.3	12.1	4.5	1.8	68.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表C4-2 私立の医療機関（病院等）での治療や相談

Q4		全体	1. 非常に満足できた	2. やや満足できた	3. どちらともいえない	4. あまり満足できなかった	5. 全く満足できなかった	6. 治療や相談をしたことがない
全体	N	3,100	83	445	512	158	61	1,841
	%	100.0	2.7	14.4	16.5	5.1	2.0	59.4
男性	N	1,550	49	241	306	92	29	833
	%	100.0	3.2	15.5	19.7	5.9	1.9	53.7
女性	N	1,550	34	204	206	66	32	1,008
	%	100.0	2.2	13.2	13.3	4.3	2.1	65.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表C4-3 公立の相談機関（センター、相談所）での相談

Q4		全体	1. 非常に満足できた	2. やや満足できた	3. どちらともいえない	4. あまり満足できなかった	5. 全く満足できなかった	6. 治療や相談をしたことがない
全体	N	3,100	52	170	371	114	56	2,337
	%	100.0	1.7	5.5	12.0	3.7	1.8	75.4
男性	N	1,550	34	91	231	65	27	1,102
	%	100.0	2.2	5.9	14.9	4.2	1.7	71.1
女性	N	1,550	18	79	140	49	29	1,235
	%	100.0	1.2	5.1	9.0	3.2	1.9	79.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表C4-4 私立や民間の相談機関（センター、相談所）での相談

Q4		全体	1. 非常に満足できた	2. やや満足できた	3. どちらともいえない	4. あまり満足できなかった	5. 全く満足できなかった	6. 治療や相談をしたことがない
全体	N	3,100	56	149	342	99	47	2,407
	%	100.0	1.8	4.8	11.0	3.2	1.5	77.6
男性	N	1,550	39	94	219	62	28	1,108
	%	100.0	2.5	6.1	14.1	4.0	1.8	71.5
女性	N	1,550	17	55	123	37	19	1,299
	%	100.0	1.1	3.5	7.9	2.4	1.2	83.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q5. あなたは、以下にあげる健康法や病気の治療法に関する情報源で、ある程度信用している情報源はどれですか。（いくつでも）

表C5 信用している情報源について

Q5		全体	1. NHKで放送されるテレビ・ラジオの健康番組による情報	2. 民放番組で放送されるテレビ・ラジオの健康番組による情報	3. 新聞の情報記事	4. 一般の雑誌・週刊誌などの情報記事	5. 健康専門雑誌の情報記事	6. 医師が執筆した書籍	7. 医師以外の方が執筆した書籍
全体	N	3,100	1,188	1,056	700	268	477	652	112
	%	100.0	38.3	34.1	22.6	8.6	15.4	21.0	3.6
男性	N	1,550	566	455	322	119	208	274	61
	%	100.0	36.5	29.4	20.8	7.7	13.4	17.7	3.9

女性	N	1,550	622	601	378	149	269	378	51
	%	100.0	40.1	38.8	24.4	9.6	17.4	24.4	3.3

Q5(続き)		全体	8. インターネット上の情報 (厚生労働省や専門機関の示すもの)	9. インターネット上の情報 (民間企業の示すもの)	10. インターネット上の情報 (個人のブログやSNSで発信されるもの)	11. 友人や知人の口コミでの情報	12. 広告やチラシ、DMによって提供される情報	13. その他	14. 特にな
全体	N	3,100	880	496	307	365	44	31	762
	%	100.0	28.4	16.0	9.9	11.8	1.4	1.0	24.6
男性	N	1,550	410	240	130	109	17	15	446
	%	100.0	26.5	15.5	8.4	7.0	1.1	1.0	28.8
女性	N	1,550	470	256	177	256	27	16	316
	%	100.0	30.3	16.5	11.4	16.5	1.7	1.0	20.4

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q6. ガンや難病などに関して、いわゆる代替療法や民間療法（自宅で独自に食材摂取や手当を行うこと）について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表C6 代替医療や民間療法に関する考えについて

Q6		全体	1. 代替療法や民間療法は根拠が希薄で、自分なら選択しないと思う	2. 代替療法や民間療法は根拠が希薄だが、自分なら選択するかもしれない	3. 代替療法や民間療法はそれなりに効果を経験した人がいると思うので、自分なら選択するかもしれない	4. 代替療法や民間療法にはまだ医学では解明できない有効な効果が含まれていると思うので、自分なら選択すると思う	5. わからない
全体	N	3,100	1,146	511	432	139	872
	%	100.0	37.0	16.5	13.9	4.5	28.1
男性	N	1,550	549	265	219	73	444
	%	100.0	35.4	17.1	14.1	4.7	28.6
女性	N	1,550	597	246	213	66	428
	%	100.0	38.5	15.9	13.7	4.3	27.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q7. 未来型の医療として、あなたがイメージできるのは、次のうちどれですか。

表C7 未来型医療のイメージについて

Q7	全体	1. 待ち時間ゼロでいつでも受診できる医療機関	2. 全く家から出なくとも、精密な検査や診療、治療が受けられること	3. 治療や手術などの期間や時間が大幅に短縮されること（1回や1日で完治など）	4. 治療や手術、検査などで全く痛みを感じないようになれること	5. 自分の遺伝子から健康な臓器を複製し、病気になった部分と差し替えることができること	6. 常に日常生活の中から身体の情報収集し、自覚症状が出る前に疾病の警告が得られること	
		N 3,100	1,119	1,001	1,399	1,313	1,026	811
		% 100.0	36.1	32.3	45.1	42.4	33.1	26.2
全体	男性	N 1,550	567	505	683	610	537	368
		% 100.0	36.6	32.6	44.1	39.4	34.6	23.7
女性	女性	N 1,550	552	496	716	703	489	443
		% 100.0	35.6	32.0	46.2	45.4	31.5	28.6

Q7(続き)	全体	7. 老化をコントロールし、長期間にわたって若々しい身体の状態が維持される技術	8. 視力や聴力、筋力を代替する超小型ハイテク機器を身体に埋め込む技術	9. 人に代わって、AIやロボットが診察する病院の登場	10. 病院ではなく自宅で、自分で治療を行うことができる機器の登場	11. その他	12. わからない	
		N 3,100	661	574	646	531	15	331
		% 100.0	21.3	18.5	20.8	17.1	0.5	10.7
全体	男性	N 1,550	360	295	344	272	9	188
		% 100.0	23.2	19.0	22.2	17.5	0.6	12.1
女性	女性	N 1,550	301	279	302	259	6	143
		% 100.0	19.4	18.0	19.5	16.7	0.4	9.2

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q8. 医療技術や製薬技術の進歩のために、あなたの体の情報や診療・検査結果のデータを第三者が利用することについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表C8 医療データの第三者利用について

Q8	全体	1. 個人が特定されないのであれば、予め同意がなくてもDNA（遺伝子）情報を	2. 個人が特定されないのであれば、予め同意をしたもとのDNA（遺伝子）情報を含	3. 個人が特定されないのであれば、DNA A（遺伝子）情報以外ならば、予め同意	4. 個人が特定されないのであれば、DNA A（遺伝子）情報以外ならば、予め同意	5. 例え個人が特定されなくとも、個人の身体、治療にかか	6. わからない／この中にあるはま

			含む様々なデータを自由に 使って、医療・製薬技術の開 発に利用してもよいと思 う。	む様々なデータを自由に使 って、医療・製薬技術の開 発に利用してもよいと思 う。	がなくとも自由に使って、 医療・製薬技術の開発に利 用してもよいと思う。	をしたもとので、自由に使 って、医療製薬技術の開発 に利用してもよいと思う。	わるデー タを第三 者が利用 すること には反対 である。	るもの はない
全体	N	3,100	522	1,066	187	411	274	640
	%	100.0	16.8	34.4	6.0	13.3	8.8	20.6
男性	N	1,550	323	529	97	153	116	332
	%	100.0	20.8	34.1	6.3	9.9	7.5	21.4
女性	N	1,550	199	537	90	258	158	308
	%	100.0	12.8	34.6	5.8	16.6	10.2	19.9

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q9. AI（人工知能）による医療診断について、あなたの考えに近い（ある程度以上同意する）ものはどれですか。（いくつでも）

表C9 AIによる医療診断について

			1. 根拠が 明示され、 結果に納 得ができ る	2. 待ち時 間のスト レスを緩 和できる	3. 治療時 間の短縮 化が期待 できる	4. 金銭的 コストを 改善でき る	5. 人手不 足の問題 を解消で きる	6. 地域格 差の問題 を解消で きる	7. 間違っ た診断で 不快にな らなくて 済む
全体	N	3,100	655	1,044	990	1,099	1,674	1,013	496
	%	100.0	21.1	33.7	31.9	35.5	54.0	32.7	16.0
男性	N	1,550	404	491	502	605	768	500	293
	%	100.0	26.1	31.7	32.4	39.0	49.5	32.3	18.9
女性	N	1,550	251	553	488	494	906	513	203
	%	100.0	16.2	35.7	31.5	31.9	58.5	33.1	13.1

			8. 診断に対 しての責任 の所在に不 安を感じる	9. 自分の感情 や状況を理解 してもらえ るとは思え ない	10. 複雑な 症例は診 断しきれ ないと思 う	11. 医師がA Iに依存して 本来の役割を 果たせなくな る	12. 医師が 人工知能を 使いこなせ ないと思う	13. その 他	14. わ か ら ない
全体	N	3,100	795	773	852	537	376	20	343

	%	100.0	25.6	24.9	27.5	17.3	12.1	0.6	11.1
男性	N	1,550	308	261	334	237	180	16	202
	%	100.0	19.9	16.8	21.5	15.3	11.6	1.0	13.0
女性	N	1,550	487	512	518	300	196	4	141
	%	100.0	31.4	33.0	33.4	19.4	12.6	0.3	9.1

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q10. あなたが、次のなかで、A I（人工知能）やロボットに任せてもよいと思う診療行為はどれですか。（いくつでも）

表C10 A Iに任せてもよい診療行為について

Q10		全体	1. 症状から訪れるべき医療機関や診療科の選択や候補の提示	2. 初診や再診の予約の受付	3. 初診の際の問診	4. 身長、体重、血圧、視力、聴力、心拍数、体温などの測定	5. 処方箋に基づく調剤や薬の給付	6. 診療や投薬の代金支払いの会計	7. 健康診断書や診療内容の証明書の発行
全体	N	3,100	1,386	1,996	1,196	2,127	999	1,578	1,417
	%	100.0	44.7	64.4	38.6	68.6	32.2	50.9	45.7
男性	N	1,550	647	834	560	999	512	693	642
	%	100.0	41.7	53.8	36.1	64.5	33.0	44.7	41.4
女性	N	1,550	739	1,162	636	1,128	487	885	775
	%	100.0	47.7	75.0	41.0	72.8	31.4	57.1	50.0

Q10(続き)		全体	8. 一般の健康診断の結果の分析と本人への告知・説明と保健指導	9. 患者からの病状や治療方針等の質問・相談に対する回答	10. 入院時の病室の巡回、体温測定、病状の確認	11. レントゲンの撮影	12. 採血	13. 注射や点滴	14. 歯科治療
全体	N	3,100	492	262	597	1,039	395	310	146
	%	100.0	15.9	8.5	19.3	33.5	12.7	10.0	4.7
男性	N	1,550	280	173	330	532	221	178	84
	%	100.0	18.1	11.2	21.3	34.3	14.3	11.5	5.4
女性	N	1,550	212	89	267	507	174	132	62
	%	100.0	13.7	5.7	17.2	32.7	11.2	8.5	4.0

Q10(続き)		全体	15. 外科手術（開腹を伴うもの）	16. 死亡の判定	17. ガンの告知と治療方針の説明	18. その他	19. わからない
全体	N	3,100	118	197	153	15	310
	%	100.0	3.8	6.4	4.9	0.5	10.0
男性	N	1,550	75	116	98	12	195
	%	100.0	4.8	7.5	6.3	0.8	12.6
女性	N	1,550	43	81	55	3	115
	%	100.0	2.8	5.2	3.5	0.2	7.4

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q11. あなたの現在の健康状態はいかがですか。（1つだけ）

表C11 現在の健康状態について

Q11		全体	1. よい	2. まあよい	3. ふつう	4. あまりよくない	5. よくない
全体	N	3,100	560	930	1,139	377	94
	%	100.0	18.1	30.0	36.7	12.2	3.0
男性	N	1,550	254	440	583	207	66
	%	100.0	16.4	28.4	37.6	13.4	4.3
女性	N	1,550	306	490	556	170	28
	%	100.0	19.7	31.6	35.9	11.0	1.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q12. あなたが健康を維持するために行っていることをお選びください。（いくつでも）

表C12 健康維持のための行動について

Q12		全体	1. 職場や市町村の実施する健康診断を必ず受ける	2. 自発的に人間ドックを受診する	3. 定期的に運動・フィットネス・体操等を継続する	4. つねに食事に気をつけ、望ましい食生活を実践する	5. レジャーや旅行などの余暇活動の充実をさせている	6. スマホやパソコン等の健康サポートアプリを利用する
全体	N	3,100	1,186	308	878	815	546	225
	%	100.0	38.3	9.9	28.3	26.3	17.6	7.3
男性	N	1,550	571	170	486	357	241	104
	%	100.0	36.8	11.0	31.4	23.0	15.5	6.7
女性	N	1,550	615	138	392	458	305	121
	%	100.0	39.7	8.9	25.3	29.5	19.7	7.8

Q12(続き)		全体	7. 新聞・テレビ・雑誌などで健康の情報・知識を増やすようにしている	8. 油分・塩分を取りすぎないようにする	9. 酒・タバコを控えている	10. 過労に注意し、睡眠、休養を十分とるよう心がけている	11. あてはまるものはない
全体	N	3,100	479	841	733	1,116	488
	%	100.0	15.5	27.1	23.6	36.0	15.7
男性	N	1,550	182	327	344	454	283
	%	100.0	11.7	21.1	22.2	29.3	18.3
女性	N	1,550	297	514	389	662	205
	%	100.0	19.2	33.2	25.1	42.7	13.2

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q13. 今後、AIやロボット技術の進展と介護人材の不足に伴って、ヒト型AIロボットが介護の世話をを行う時代が来るかもしれません。この時、あなたがヒト型AIロボットによって介護してもらった方が良いか従来の介護士（人）によって介護してもらった方が良いかを選んでください。

表C13-1 食事の介助

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い
全体	N	3,100	247	443	1,202	764	444
	%	100.0	8.0	14.3	38.8	24.6	14.3
男性	N	1,550	143	219	622	337	229
	%	100.0	9.2	14.1	40.1	21.7	14.8
女性	N	1,550	104	224	580	427	215
	%	100.0	6.7	14.5	37.4	27.5	13.9

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表C13-2 入浴の介助

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い
全体	N	3,100	551	820	972	449	308
	%	100.0	17.8	26.5	31.4	14.5	9.9
男性	N	1,550	270	355	553	214	158
	%	100.0	17.4	22.9	35.7	13.8	10.2
女性	N	1,550	281	465	419	235	150

	%	100.0	18.1	30.0	27.0	15.2	9.7
--	---	-------	------	------	------	------	-----

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表C13-3 整容の介助

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い
全体	N	3,100	267	451	1,599	521	262
	%	100.0	8.6	14.5	51.6	16.8	8.5
男性	N	1,550	153	222	810	220	145
	%	100.0	9.9	14.3	52.3	14.2	9.4
女性	N	1,550	114	229	789	301	117
	%	100.0	7.4	14.8	50.9	19.4	7.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表C13-4 移動の介助

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い
全体	N	3,100	552	873	1,202	307	166
	%	100.0	17.8	28.2	38.8	9.9	5.4
男性	N	1,550	301	422	588	145	94
	%	100.0	19.4	27.2	37.9	9.4	6.1
女性	N	1,550	251	451	614	162	72
	%	100.0	16.2	29.1	39.6	10.5	4.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表C13-5 トイレの介助

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い
全体	N	3,100	751	1,019	865	265	200
	%	100.0	24.2	32.9	27.9	8.5	6.5
男性	N	1,550	380	466	475	128	101
	%	100.0	24.5	30.1	30.6	8.3	6.5
女性	N	1,550	371	553	390	137	99
	%	100.0	23.9	35.7	25.2	8.8	6.4

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表C13-6 話し相手

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い
全体	N	3,100	96	143	886	1,000	975
	%	100.0	3.1	4.6	28.6	32.3	31.5
男性	N	1,550	54	75	481	443	497
	%	100.0	3.5	4.8	31.0	28.6	32.1
女性	N	1,550	42	68	405	557	478
	%	100.0	2.7	4.4	26.1	35.9	30.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表C13-7 ゲームや娯楽の相手

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い
全体	N	3,100	221	454	1,455	544	426
	%	100.0	7.1	14.6	46.9	17.5	13.7
男性	N	1,550	121	227	712	261	229
	%	100.0	7.8	14.6	45.9	16.8	14.8
女性	N	1,550	100	227	743	283	197
	%	100.0	6.5	14.6	47.9	18.3	12.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表C13-8 部屋の掃除

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い
全体	N	3,100	765	864	1,203	152	116
	%	100.0	24.7	27.9	38.8	4.9	3.7
男性	N	1,550	397	413	592	82	66
	%	100.0	25.6	26.6	38.2	5.3	4.3
女性	N	1,550	368	451	611	70	50
	%	100.0	23.7	29.1	39.4	4.5	3.2

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表C13-9 薬の管理

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い
全体	N	3,100	507	697	1,269	379	248
	%	100.0	16.4	22.5	40.9	12.2	8.0
男性	N	1,550	286	361	633	148	122
	%	100.0	18.5	23.3	40.8	9.5	7.9
女性	N	1,550	221	336	636	231	126
	%	100.0	14.3	21.7	41.0	14.9	8.1

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表C13-10 お金の管理

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い
全体	N	3,100	686	758	1,074	306	276
	%	100.0	22.1	24.5	34.6	9.9	8.9
男性	N	1,550	369	343	556	135	147
	%	100.0	23.8	22.1	35.9	8.7	9.5
女性	N	1,550	317	415	518	171	129
	%	100.0	20.5	26.8	33.4	11.0	8.3

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q14. 近年、終末期医療に関して「安楽死」「尊厳死」「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの問題が話題になっていますが、それぞれについて、あてはまるものをお選びください。

表C14-1 あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎えることが避けられない状態にある場合、「延命治療」（ここでは治癒にはつながらず、死期を先延ばしするような処置であるものとする）を選択しますか。

Q14		全体	1. 積極的に選択する	2. どちらかといえば選択する	3. どちらとも言えない	4. どちらかといえば選択しない	5. 決して選択しない
全体	N	3,100	128	354	860	952	806
	%	100.0	4.1	11.4	27.7	30.7	26.0
男性	N	1,550	66	191	489	418	386
	%	100.0	4.3	12.3	31.5	27.0	24.9
女性	N	1,550	62	163	371	534	420
	%	100.0	4.0	10.5	23.9	34.5	27.1

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表C14-2 あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にある場合、「尊厳死」（ここでは、延命治療をやめて痛みを緩和する処置にとどめて、自然死を迎えるものとする）を選択しますか。

Q14		全体	1. 積極的に 選択する	2. どちらかとい えば選択する	3. どちらと も言えない	4. どちらかとい えば選択しない	5. 決して選 択しない
全体	N	3,100	742	1,130	906	212	110
	%	100.0	23.9	36.5	29.2	6.8	3.5
男性	N	1,550	347	505	512	125	61
	%	100.0	22.4	32.6	33.0	8.1	3.9
女性	N	1,550	395	625	394	87	49
	%	100.0	25.5	40.3	25.4	5.6	3.2

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表C14-3 あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きい場合に、患者の希望にしたがって、延命治療をやめて医師の手助けにより、患者が自ら苦しめない方法で自死を行う形での安楽死を選択しますか。

Q14		全体	1. 積極的に 選択する	2. どちらかとい えば選択する	3. どちらと も言えない	4. どちらかとい えば選択しない	5. 決して選 択しない
全体	N	3,100	656	1,004	1,046	263	131
	%	100.0	21.2	32.4	33.7	8.5	4.2
男性	N	1,550	338	497	530	126	59
	%	100.0	21.8	32.1	34.2	8.1	3.8
女性	N	1,550	318	507	516	137	72
	%	100.0	20.5	32.7	33.3	8.8	4.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表C14-4 あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きい場合に、患者の希望にしたがって、延命治療をやめて医師が処置により患者を苦しめない方法で死亡させる形での安楽死を選択しますか。

Q14		全体	1. 積極的に 選択する	2. どちらかとい えば選択する	3. どちらと も言えない	4. どちらかとい えば選択しない	5. 決して選 択しない
全体	N	3,100	651	1,016	1,056	252	125
	%	100.0	21.0	32.8	34.1	8.1	4.0
男性	N	1,550	345	464	553	130	58

	%	100.0	22.3	29.9	35.7	8.4	3.7
女性	N	1,550	306	552	503	122	67
	%	100.0	19.7	35.6	32.5	7.9	4.3

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表C14-5 あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きく、さらにあなたが意思表示できないような重篤な状態の場合に医師や家族の判断で延命治療をやめ、医師が処置により患者を苦しめない方法で死亡させる形での安楽死を選択しますか。

Q14		全体	1. 積極的に 選択する	2. どちらかとい えば選択する	3. どちらと も言えない	4. どちらかとい えば選択しない	5. 決して選 択しない
全体	N	3,100	788	1,060	997	159	96
	%	100.0	25.4	34.2	32.2	5.1	3.1
男性	N	1,550	386	481	550	87	46
	%	100.0	24.9	31.0	35.5	5.6	3.0
女性	N	1,550	402	579	447	72	50
	%	100.0	25.9	37.4	28.8	4.6	3.2

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q15. あなたの居住する市町村内または隣接する市町村にカジノを中心に宿泊施設、テーマパーク、商業施設などを一体的に整備する統合型リゾート（IR）が設置される場合に関し、ギャンブル依存や風紀の乱れが心配されている一方で、地域振興も期待されています。このことについてあなたの考えに近いものをお選びください。

表C15-1【A】カジノなどの問題はあるかもしれないが、IRによって自分の地域の経済や人口の交流が活性化されることを重視・評価して設置には賛成する。【B】IR内のカジノによってギャンブル依存や地域の風紀が乱れる心配があるので、設置には反対する。

Q15		全体	1. Aに近い	2. ややAに近い	3. どちらともいえない	4. ややBに近い	5. Bに近い
全体	N	3,100	300	598	643	745	814
	%	100.0	9.7	19.3	20.7	24.0	26.3
男性	N	1,550	229	360	323	255	383
	%	100.0	14.8	23.2	20.8	16.5	24.7
女性	N	1,550	71	238	320	490	431
	%	100.0	4.6	15.4	20.6	31.6	27.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表C15-2【A】諸外国に既にIRが存在し、観光客などが多く来訪して栄えている実績があるのだから、治安や風紀に関する心配は過剰で、設置には賛成である。【B】経済効果があり、治安や風紀も問題ないとしても、外国人観光客にアピールすべき日本の良さはもっと別のものがあると思うので、設置には反対である。

Q15		全体	1. Aに近い	2. ややAに近い	3. どちらともいえない	4. ややBに近い	5. Bに近い
全体	N	3,100	250	569	812	801	668
	%	100.0	8.1	18.4	26.2	25.8	21.5
男性	N	1,550	185	354	405	285	321
	%	100.0	11.9	22.8	26.1	18.4	20.7
女性	N	1,550	65	215	407	516	347
	%	100.0	4.2	13.9	26.3	33.3	22.4

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表C15-3【A】地域が振興することは十分に見込まれるのであれば、カジノという手段にあまりこだわらず、経済効果を追求してもよいと思う。【B】例え経済的な効果が見込まれるとしても、そもそもカジノを含むIRの設置という手段によって地域振興を達成しようとするべきではないと思う。

Q15		全体	1. Aに近い	2. ややAに近い	3. どちらともいえない	4. ややBに近い	5. Bに近い
全体	N	3,100	296	794	755	639	616
	%	100.0	9.5	25.6	24.4	20.6	19.9
男性	N	1,550	211	445	347	249	298
	%	100.0	13.6	28.7	22.4	16.1	19.2
女性	N	1,550	85	349	408	390	318
	%	100.0	5.5	22.5	26.3	25.2	20.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表C15-4【A】IR設置の決定はある程度専門的で政策的な側面があるから、あまり細かなことまでこだわって設置時期が遅れるようなことがない方がいい。【B】IR設置の意思決定のプロセスや業者、政治家、設置権限を持つ人々の設置への関与の透明性が確保されない限り、設置には賛成できない。

Q15		全体	1. Aに近い	2. ややAに近い	3. どちらともいえない	4. ややBに近い	5. Bに近い
全体	N	3,100	170	423	937	758	812
	%	100.0	5.5	13.6	30.2	24.5	26.2
男性	N	1,550	137	261	439	320	393
	%	100.0	8.8	16.8	28.3	20.6	25.4

女性	N	1,550	33	162	498	438	419
	%	100.0	2.1	10.5	32.1	28.3	27.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

## D. 全体集計結果（仙台市）

Q1. あなたが、未来のあるべき姿と比較して、現在の日本の状況について、ある程度満足に近いレベルまで達成されていると思うものは、どれですか。（いくつでも）

表D1 現在の日本で満足している制度・政策について

Q1	N	%
1. 高齢者福祉	15	11.5
2. IT・通信技術	38	29.2
3. 車の安全運転技術	28	21.5
4. 地球温暖化対策	4	3.1
5. 自然災害に対する防災対策	7	5.4
6. 選挙・政治制度	1	0.8
7. 医療・治療技術	32	24.6
8. 男女平等	10	7.7
9. 子育て支援	10	7.7
10. 裁判制度	5	3.8
11. マスコミの報道姿勢	5	3.8
12. 救急搬送	28	21.5
13. 政府や自治体の情報公開	6	4.6
14. その他	1	0.8
15. わからない	47	36.2
全体	130	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（%）を表す。

Q2. 今後医療費が増大した場合、健康保険で受けられる医療サービスの水準と、その費用の負担の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表D2 健康保険の受益と負担の関係について

Q2	N	%
----	---	---

1. 今後、多少負担が増えても、現在の健康保険で受けられる医療サービスの水準を維持するべきだ	47	36.2
2. これ以上負担が増えないように、健康保険で受けられる医療サービスの水準をやや抑え気味にするべきだ	45	34.6
3. 負担を低くするために、健康保険で受けられる医療サービスの水準を抑制していくべきだ	11	8.5
4. その他	4	3.1
5. わからない	23	17.7
全体	130	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q3. あなたは、今後、社会保障費の増大を抑制するため、政府が取り組みを強化するべきだと思うものはどれですか。（いくつでも）

表D3 政府が強化すべき取り組みについて

Q3	N	%
1. 予防活動や定期的な健康診断の受診など、本人が病気や要介護にならないような行動を評価する制度（健康保険料や介護保険料や自己負担割合の軽減など）	65	50.0
2. 健診を受けない行動、疾病や予防活動を行わない等、病気や要介護を避けようとしないうような行動にペナルティを与える制度（健康・介護保険料の増額や自己負担割合の引き上げなど）	24	18.5
3. 甘味の炭酸飲料や塩分を多く含む加工食品等に対して、疾病予防の見地から税金を課し、それらの食品等の摂取を抑制するように誘導する制度	18	13.8
4. 病院・診療所の治療成績や費用を情報公開し、患者が自分の判断で医療機関を選べるシステムの推進	38	29.2
5. DNAなど遺伝子レベルでの検査や治療の拡大と推進	36	27.7
6. AIやICT技術、ロボット等の導入による、医療・福祉のコンピュータ化、情報化、ロボット化の推進	37	28.5
7. その他	3	2.3
8. わからない	19	14.6
全体	130	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q4. あなたが、カウンセリングや心理相談など「心の健康」に関する治療や相談について、これまでもっとも多く経験したものについてあてはまるものをお答えください。

表D4 心の健康に関する相談・治療の経験について

Q4		全体	1. 非常に満足できた	2. やや満足できた	3. どちらともいえな	4. あまり満足できなかった	5. 全く満足できなかった	6. 治療や相談をしたことがない
1. 公立の医療機関（病院等）での治療や相談	N	130	4	10	23	8	3	82
	%	100	3.1	7.7	17.7	6.2	2.3	63.1
2. 私立の医療機関（病院等）での治療や相談	N	130	6	15	27	2	5	75
	%	100	4.6	11.5	20.8	1.5	3.8	57.7
3. 公立の相談機関（センター、相談所）での相談	N	130	1	6	15	6	4	98
	%	100	0.8	4.6	11.5	4.6	3.1	75.4
4. 私立や民間の相談機関（センター、相談所）での相談	N	130	3	8	14	5	2	98
	%	100	2.3	6.2	10.8	3.8	1.5	75.4

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q5. あなたは、以下にあげる健康法や病気の治療法に関する情報源で、ある程度信用している情報源はどれですか。（いくつでも）

表D5 信用している情報源について

Q5	N	%
1. NHKで放送されるテレビ・ラジオの健康番組による情報	52	40.0
2. 民放番組で放送されるテレビ・ラジオの健康番組による情報	46	35.4
3. 新聞の情報記事	27	20.8
4. 一般の雑誌・週刊誌などの情報記事	10	7.7
5. 健康専門雑誌の情報記事	22	16.9
6. 医師が執筆した書籍	32	24.6
7. 医師以外の方が執筆した書籍	2	1.5
8. インターネット上の情報（厚生労働省や専門機関の示すもの）	37	28.5
9. インターネット上の情報（民間企業の示すもの）	18	13.8
10. インターネット上の情報（個人のブログやSNSで発信されるもの）	15	11.5
11. 友人や知人の口コミでの情報	15	11.5
12. 広告やチラシ、DMによって提供される情報	0	0.0
13. その他	2	1.5
14. 特にな	39	30.0
全体	130	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q6. ガンや難病などに関して、いわゆる代替療法や民間療法（自宅で独自に食材摂取や手当を行うこと）について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表D6 代替医療や民間療法に関する考えについて

Q6	N	%
1. 代替療法や民間療法は根拠が希薄で、自分なら選択しないと思う	49	37.7
2. 代替療法や民間療法は根拠が希薄だが、自分なら選択するかもしれない	23	17.7
3. 代替療法や民間療法はそれなりに効果を経験した人がいると思うので、自分なら選択するかもしれない	22	16.9
4. 代替療法や民間療法にはまだ医学では解明できない有効な効果が含まれていると思うので、自分なら選択すると思う	0	0.0
5. わからない	36	27.7
全体	130	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q7. 未来型の医療として、あなたがイメージできるのは、次のうちどれですか。

表D7 未来型医療のイメージについて

Q7	N	%
1. 待ち時間ゼロでいつでも受診できる医療機関	46	35.4
2. 全く家から出なくとも、精密な検査や診療、治療が受けられること	35	26.9
3. 治療や手術などの期間や時間が大幅に短縮されること（1回や1日で完治など）	61	46.9
4. 治療や手術、検査などで全く痛みを感じないようにできること	56	43.1
5. 自分の遺伝子から健康な臓器を複製し、病気になった部分と差し替えることができること	46	35.4
6. 常に日常生活の中から身体の情報を収集し、自覚症状が出る前に疾病の警告が得られること	34	26.2
7. 老化をコントロールし、長期間にわたって若々しい身体の状態が維持される技術	30	23.1
8. 視力や聴力、筋力を代替する超小型ハイテク機器を身体に埋め込む技術	18	13.8
9. 人に代わって、AIやロボットが診察する病院の登場	31	23.8
10. 病院ではなく自宅で、自分で治療を行うことができる機器の登場	22	16.9
11. その他	1	0.8
12. わからない	16	12.3
全体	130	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q8. 医療技術や製薬技術の進歩のために、あなたの体の情報や診療・検査結果のデータを

第三者が利用することについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表D8 医療データの第三者利用について

Q8	N	%
1. 個人が特定されないのであれば、予め同意がなくてもDNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	20	15.4
2. 個人が特定されないのであれば、予め同意をしたもとのDNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	42	32.3
3. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意がなくても自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	13	10.0
4. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意をしたもとの自由に使って、医療製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	16	12.3
5. 例え個人が特定されなくとも、個人の身体、治療にかかわるデータを第三者が利用することには反対である。	14	10.8
6. わからない／この中にあてはまるものはない	25	19.2
全体	130	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（%）を表す。

Q9. AI（人工知能）による医療診断について、あなたの考えに近い（ある程度以上同意する）ものはどれですか。（いくつでも）

表D9 AIによる医療診断について

Q9	N	%
1. 根拠が明示され、結果に納得ができる	22	16.9
2. 待ち時間のストレスを緩和できる	45	34.6
3. 治療時間の短縮化が期待できる	38	29.2
4. 金銭的コストを改善できる	48	36.9
5. 人手不足の問題を解消できる	68	52.3
6. 地域格差の問題を解消できる	42	32.3
7. 間違った診断で不快にならなくて済む	22	16.9
8. 診断に対しての責任の所在に不安を感じる	35	26.9
9. 自分の感情や状況を理解してもらえないとは思えない	29	22.3
10. 複雑な症例は診断しきれないと思う	44	33.8
11. 医師がAIに依存して本来の役割を果たせなくなる	23	17.7

12. 医師が人工知能を使いこなせないと思う	17	13.1
13. その他	0	0.0
14. わからない	16	12.3
全体	130	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q10. あなたが、次のなかで、A I（人工知能）やロボットに任せてもよいと思う診療行為はどれですか。（いくつでも）

表D10 A Iに任せてもよい診療行為について

Q10	N	%
1. 症状から訪れるべき医療機関や診療科の選択や候補の提示	67	51.5
2. 初診や再診の予約の受付	84	64.6
3. 初診の際の問診	49	37.7
4. 身長、体重、血圧、視力、聴力、心拍数、体温などの測定	96	73.8
5. 処方箋に基づく調剤や薬の給付	42	32.3
6. 診療や投薬の代金支払いの会計	67	51.5
7. 健康診断書や診療内容の証明書の発行	55	42.3
8. 一般の健康診断の結果の分析と本人への告知・説明と保健指導	18	13.8
9. 患者からの病状や治療方針等の質問・相談に対する回答	10	7.7
10. 入院時の病室の巡回、体温測定、病状の確認	24	18.5
11. レントゲンの撮影	37	28.5
12. 採血	12	9.2
13. 注射や点滴	11	8.5
14. 歯科治療	5	3.8
15. 外科手術（開腹を伴うもの）	8	6.2
16. 死亡の判定	8	6.2
17. ガンの告知と治療方針の説明	7	5.4
18. その他	0	0.0
19. わからない	12	9.2
全体	130	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q11. あなたの現在の健康状態はいかがですか。（1つだけ）

表D11 現在の健康状態について

Q11	全体	1. よい	2. まあよい	3. ふつう	4. あまりよくない	5. よくない
N	130	21	38	47	17	7
%	100.0	16.2	29.2	36.2	13.1	5.4

Q12. あなたが健康を維持するために行っていることをお選びください。（いくつでも）

表D12 健康維持のための行動について

Q12	N	%
1. 職場や市町村の実施する健康診断を必ず受ける	50	38.5
2. 自発的に人間ドックを受診する	9	6.9
3. 定期的に運動・フィットネス・体操等を継続する	27	20.8
4. つねに食事に気をつけ、望ましい食生活を実践する	35	26.9
5. レジャーや旅行などの余暇活動の充実をさせている	25	19.2
6. スマホやパソコン等の健康サポートアプリを利用する	6	4.6
7. 新聞・テレビ・雑誌などで健康の情報・知識を増やすようにしている	21	16.2
8. 油分・塩分を取りすぎないようにする	34	26.2
9. 酒・タバコを控えている	31	23.8
10. 過労に注意し、睡眠、休養を十分とよう心がけている	47	36.2
11. あてはまるものはない	31	23.8
全体	130	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（%）を表す。

Q13. 今後、AIやロボット技術の進展と介護人材の不足に伴って、ヒト型AIロボットが介護の世話をを行う時代が来るかもしれません。この時、あなたがヒト型AIロボットによって介護してもらった方が良いか従来の介護士（人）によって介護してもらった方が良いかを選んでください。

表D13 AIロボットによる介護に対する考えについて

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い
			1. 食事の介助	N	130	7	15
	%	100.0	5.4	11.5	43.8	23.8	15.4
2. 入浴の介助	N	130	19	31	45	20	15

	%	100.0	14.6	23.8	34.6	15.4	11.5
3. 整容の介助	N	130	10	15	66	27	12
	%	100.0	7.7	11.5	50.8	20.8	9.2
4. 移動の介助	N	130	20	28	61	13	8
	%	100.0	15.4	21.5	46.9	10.0	6.2
5. トイレの介助	N	130	30	40	37	12	11
	%	100.0	23.1	30.8	28.5	9.2	8.5
6. 話し相手	N	130	4	5	45	38	38
	%	100.0	3.1	3.8	34.6	29.2	29.2
7. ゲームや娯楽の相手	N	130	11	23	61	18	17
	%	100.0	8.5	17.7	46.9	13.8	13.1
8. 部屋の掃除	N	130	27	33	57	8	5
	%	100.0	20.8	25.4	43.8	6.2	3.8
9. 薬の管理	N	130	21	30	50	18	11
	%	100.0	16.2	23.1	38.5	13.8	8.5
10. お金の管理	N	130	29	31	46	11	13
	%	100.0	22.3	23.8	35.4	8.5	10.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q14. 近年、終末期医療に関して「安楽死」「尊厳死」「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの問題が話題になっていますが、それぞれについて、あてはまるものをお選びください。

表D14 安楽死・尊厳死・リビングウィルに関する考えについて

Q14		全体	1. 積極的に選択する	2. どちらかといえば選択する	3. どちらとも言えない	4. どちらかといえば選択しない	5. 決して選択しない
1. あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎えることが避けられない状態にある場合、「延命治療」（ここでは治癒にはつながらず、死期を先延ばしするような処置であるものとする）を選択しますか。	N	130	6	12	34	40	38
	%	100.0	4.6	9.2	26.2	30.8	29.2

2. あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にある場合、「尊厳死」（ここでは、延命治療をやめて痛みを緩和する処置にとどめて、自然死を迎えるものとする）を選択しますか。	N	130	30	46	37	11	6
	%	100.0	23.1	35.4	28.5	8.5	4.6
3. あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きい場合に、患者の希望にしたがって、延命治療をやめて医師の手助けにより、患者が自ら苦しめない方法で自死を行う形での安楽死を選択しますか。	N	130	26	38	51	10	5
	%	100.0	20.0	29.2	39.2	7.7	3.8
4. あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きい場合に、患者の希望にしたがって、延命治療をやめて医師が処置により患者を苦しめない方法で死亡させる形での安楽死を選択しますか。	N	130	23	37	54	10	6
	%	100.0	17.7	28.5	41.5	7.7	4.6
5. あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きく、さらにあなたが意思表示できないような重篤な状態の場合に医師や家族の判断で延命治療をやめ、医師が処置により患者を苦しめない方法で死亡させる形での安楽死を選択しますか。	N	130	27	49	45	6	3
	%	100.0	20.8	37.7	34.6	4.6	2.3

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q15. あなたの居住する市町村内または隣接する市町村にカジノを中心に宿泊施設、テーマパーク、商業施設などを一体的に整備する統合型リゾート（IR）が設置される場合に関し、ギャンブル依存や風紀の乱れが心配されている一方で、地域振興も期待されています。このことについてあなたの考えに近いものをお選びください。

表D15 カジノ等の統合型リゾートに対する考えについて

Q15		全体	1. Aに近い	2. ややAに近い	3. どちらともいえない	4. ややBに近い	5. Bに近い
1. 【A】カジノなどの問題はあるかもしれないが、IRによって自分の地域の経済や人口の交流が活性化されることを重視・評価して設置には	N	130	11	20	27	30	42

賛成する。 【B】 IR 内のカジノによってギャンブル依存や地域の風紀が乱れる心配があるので、設置には反対する。	%	100.0	8.5	15.4	20.8	23.1	32.3
2. 【A】 諸外国に既に IR が存在し、観光客などが多く来訪して栄えている実績があるのだから、治安や風紀に関する心配は過剰で、設置には賛成である。	N	130	9	22	36	31	32
【B】 経済効果があり、治安や風紀も問題ないとしても、外国人観光客にアピールするべき日本の良さはもっと別のものがあると思うので、設置には反対である。	%	100.0	6.9	16.9	27.7	23.8	24.6
3. 【A】 地域が振興することは十分に見込まれるのであれば、カジノという手段にあまりこだわらず、経済効果を追求してもよいと思う。	N	130	10	25	44	23	28
【B】 例え経済的な効果が見込まれるとしても、そもそもカジノを含む IR の設置という手段によって地域振興を達成しようとするべきではないと思う。	%	100.0	7.7	19.2	33.8	17.7	21.5
4. 【A】 IR 設置の決定はある程度専門的で政策的な側面があるから、あまり細かなことまでこだわって設置時期が遅れるようなことがない方がいい。	N	130	7	21	34	32	36
【B】 IR 設置の意思決定のプロセスや業者、政治家、設置権限を持つ人々の設置への関与の透明性が確保されない限り、設置には賛成できない。	%	100.0	5.4	16.2	26.2	24.6	27.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

## E. 年齢別集計結果（仙台市）

Q1. あなたが、未来のあるべき姿と比較して、現在の日本の状況について、ある程度満足に近いレベルまで達成されていると思うものは、どれですか。（いくつでも）

表E1 現在の日本で満足している制度・政策について

Q1		全体	1. 高齢者福祉	2. IT・通信技術	3. 車の安全運転技術	4. 地球温暖化対策	5. 自然災害に対する防災対策	6. 選挙・政治制度	7. 医療・治療技術	8. 男女平等	
年齢	全体	N	130	15	38	28	4	7	1	32	10
		%	100.0	11.5	29.2	21.5	3.1	5.4	0.8	24.6	7.7
	20代	N	27	3	7	5	0	0	0	6	2
		%	100.0	11.1	25.9	18.5	0.0	0.0	0.0	22.2	7.4
	30代	N	29	4	8	9	1	1	0	6	2
		%	100.0	13.8	27.6	31.0	3.4	3.4	0.0	20.7	6.9
	40代	N	27	1	6	5	1	2	0	4	0
		%	100.0	3.7	22.2	18.5	3.7	7.4	0.0	14.8	0.0
	50代	N	24	3	8	3	0	1	0	6	3
		%	100.0	12.5	33.3	12.5	0.0	4.2	0.0	25.0	12.5
	60代	N	23	4	9	6	2	3	1	10	3
		%	100.0	17.4	39.1	26.1	8.7	13.0	4.3	43.5	13.0

Q1(続き)		全体	9. 子育て支援	10. 裁判制度	11. マスコミの報道姿勢	12. 救急搬送	13. 政府や自治体の情報公開	14. その他	15. わからない	
年齢	全体	N	130	10	5	5	28	6	1	47
		%	100.0	7.7	3.8	3.8	21.5	4.6	0.8	36.2
	20代	N	27	2	0	1	6	1	0	9
		%	100.0	7.4	0.0	3.7	22.2	3.7	0.0	33.3
	30代	N	29	3	0	0	8	1	0	8
		%	100.0	10.3	0.0	0.0	27.6	3.4	0.0	27.6

40代	N	27	1	1	1	4	1	0	13
	%	100.0	3.7	3.7	3.7	14.8	3.7	0.0	48.1
50代	N	24	1	2	1	6	1	1	9
	%	100.0	4.2	8.3	4.2	25.0	4.2	4.2	37.5
60代	N	23	3	2	2	4	2	0	8
	%	100.0	13.0	8.7	8.7	17.4	8.7	0.0	34.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q2. 今後医療費が増大した場合、健康保険で受けられる医療サービスの水準と、その費用の負担の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表E2 健康保険の受益と負担の関係について

Q2		全体	1. 今後、多少負担が増えても、現在の健康保険で受けられる医療サービスの水準を維持するべきだ	2. これ以上負担が増えないように、健康保険で受けられる医療サービスの水準をやや抑え気味にするべきだ	3. 負担を低くするために、健康保険で受けられる医療サービスの水準を抑制していくべきだ	4. その他	5. わからない	
年齢	全体	N	130	47	45	11	4	23
		%	100.0	36.2	34.6	8.5	3.1	17.7
	20代	N	27	13	9	1	0	4
		%	100.0	48.1	33.3	3.7	0.0	14.8
	30代	N	29	11	10	2	0	6
		%	100.0	37.9	34.5	6.9	0.0	20.7
	40代	N	27	4	12	4	0	7
		%	100.0	14.8	44.4	14.8	0.0	25.9
	50代	N	24	9	5	4	2	4
		%	100.0	37.5	20.8	16.7	8.3	16.7
	60代	N	23	10	9	0	2	2
		%	100.0	43.5	39.1	0.0	8.7	8.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q3. あなたは、今後、社会保障費の増大を抑制するため、政府が取り組みを強化するべきだと思うものはどれですか。（いくつでも）

表E3 政府が強化すべき取り組みについて

Q3		全体	1. 予防活動や定期的な健康診断の受診など、本人が病気や要介護にならないような行動を評価する制度（健康保険料や介護保険料や自己負担割合の軽減など）	2. 健診を受けない行動、疾病や予防活動を行わない等、病気や要介護を避けようとする行動にペナルティを与える制度（健康・介護保険料の増額や自己負担割合の引き上げなど）	3. 甘味の炭酸飲料や塩分を多く含む加工食品等に対して、疾病予防の見地から税金を課し、それらの食品等の摂取を抑制するように誘導する制度	4. 病院・診療所の治療成績や費用を情報公開し、患者が自分の判断で医療機関を選べるシステムの推進	5. DN Aなど遺伝子レベルでの検査や治療の拡大と推進	6. AIやICT技術、ロボット等の導入による、医療・福祉のコンピュータ化、情報化、ロボット化の推進	7. その他	8. わからぬ	
年齢	全 体	N	130	65	24	18	38	36	37	3	19
		%	100.0	50.0	18.5	13.8	29.2	27.7	28.5	2.3	14.6
	20 代	N	27	16	10	3	10	9	6	0	2
		%	100.0	59.3	37.0	11.1	37.0	33.3	22.2	0.0	7.4
	30 代	N	29	13	8	2	9	7	7	1	5
		%	100.0	44.8	27.6	6.9	31.0	24.1	24.1	3.4	17.2
	40 代	N	27	10	2	4	5	10	9	0	7
		%	100.0	37.0	7.4	14.8	18.5	37.0	33.3	0.0	25.9
	50 代	N	24	11	2	4	5	7	9	1	4
		%	100.0	45.8	8.3	16.7	20.8	29.2	37.5	4.2	16.7
	60 代	N	23	15	2	5	9	3	6	1	1
		%	100.0	65.2	8.7	21.7	39.1	13.0	26.1	4.3	4.3

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q4. あなたが、カウンセリングや心理相談など「心の健康」に関する治療や相談について、これまでもっとも多く経験したものについてあてはまるものをお答えください。

表E4-1 公立の医療機関（病院等）での治療や相談

Q4	全体	1. 非常に満足できた	2. やや満足できた	3. どちらともいえない	4. あまり満足できなかった	5. 全く満足できなかった	6. 治療や相談をしたことがない

年 齢	全 体	N	130	4	10	23	8	3	82
		%	100.0	3.1	7.7	17.7	6.2	2.3	63.1
	20 代	N	27	1	4	5	1	0	16
		%	100.0	3.7	14.8	18.5	3.7	0.0	59.3
	30 代	N	29	1	4	5	3	0	16
		%	100.0	3.4	13.8	17.2	10.3	0.0	55.2
	40 代	N	27	1	0	5	0	2	19
		%	100.0	3.7	0.0	18.5	0.0	7.4	70.4
	50 代	N	24	1	0	4	2	0	17
		%	100.0	4.2	0.0	16.7	8.3	0.0	70.8
	60 代	N	23	0	2	4	2	1	14
		%	100.0	0.0	8.7	17.4	8.7	4.3	60.9

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表E4-2 私立の医療機関（病院等）での治療や相談

Q4		全体	1. 非常に満足できた	2. やや満足できた	3. どちらともいえない	4. あまり満足できなかった	5. 全く満足できなかった	6. 治療や相談をしたことがない	
年 齢	全 体	N	130	6	15	27	2	5	75
		%	100.0	4.6	11.5	20.8	1.5	3.8	57.7
	20 代	N	27	1	4	5	0	0	17
		%	100.0	3.7	14.8	18.5	0.0	0.0	63.0
	30 代	N	29	2	3	7	1	2	14
		%	100.0	6.9	10.3	24.1	3.4	6.9	48.3
	40 代	N	27	0	1	6	0	2	18
		%	100.0	0.0	3.7	22.2	0.0	7.4	66.7
	50 代	N	24	1	3	4	1	1	14
		%	100.0	4.2	12.5	16.7	4.2	4.2	58.3
	60 代	N	23	2	4	5	0	0	12
		%	100.0	8.7	17.4	21.7	0.0	0.0	52.2

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表E4-3 公立の相談機関（センター、相談所）での相談

Q4		全体	1. 非常に満足できた	2. やや満足できた	3. どちらともいえない	4. あまり満足できなかった	5. 全く満足できなかった	6. 治療や相談をしたことがない	
年齢	全体	N	130	1	6	15	6	4	98
		%	100.0	0.8	4.6	11.5	4.6	3.1	75.4
	20代	N	27	0	3	3	0	1	20
		%	100.0	0.0	11.1	11.1	0.0	3.7	74.1
	30代	N	29	1	2	3	4	0	19
		%	100.0	3.4	6.9	10.3	13.8	0.0	65.5
	40代	N	27	0	1	2	0	1	23
		%	100.0	0.0	3.7	7.4	0.0	3.7	85.2
	50代	N	24	0	0	3	1	1	19
		%	100.0	0.0	0.0	12.5	4.2	4.2	79.2
	60代	N	23	0	0	4	1	1	17
		%	100.0	0.0	0.0	17.4	4.3	4.3	73.9

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表E4-4 私立や民間の相談機関（センター、相談所）での相談

Q4		全体	1. 非常に満足できた	2. やや満足できた	3. どちらともいえない	4. あまり満足できなかった	5. 全く満足できなかった	6. 治療や相談をしたことがない	
年齢	全体	N	130	3	8	14	5	2	98
		%	100.0	2.3	6.2	10.8	3.8	1.5	75.4
	20代	N	27	0	4	2	0	0	21
		%	100.0	0.0	14.8	7.4	0.0	0.0	77.8
	30代	N	29	3	1	5	1	1	18
		%	100.0	10.3	3.4	17.2	3.4	3.4	62.1
	40代	N	27	0	1	2	1	1	22
		%	100.0	0.0	3.7	7.4	3.7	3.7	81.5
	50代	N	24	0	0	3	1	0	20
		%	100.0	0.0	0.0	12.5	4.2	0.0	83.3
	60代	N	23	0	2	2	2	0	17
		%	100.0	0.0	8.7	8.7	8.7	0.0	73.9

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q5. あなたは、以下にあげる健康法や病気の治療法に関する情報源で、ある程度信用している情報源はどれですか。（いくつでも）

表E5 信用している情報源について

Q5		全体	1. NHKで放送されるテレビ・ラジオの健康番組による情報	2. 民放番組で放送されるテレビ・ラジオの健康番組による情報	3. 新聞の情報記事	4. 一般の雑誌・週刊誌などの情報記事	5. 健康専門雑誌の情報記事	6. 医師が執筆した書籍	7. 医師以外の方が執筆した書籍	
年齢	全 体	N	130	52	46	27	10	22	32	2
		%	100.0	40.0	35.4	20.8	7.7	16.9	24.6	1.5
	20 代	N	27	10	7	3	0	1	6	0
		%	100.0	37.0	25.9	11.1	0.0	3.7	22.2	0.0
	30 代	N	29	11	10	5	3	7	10	0
		%	100.0	37.9	34.5	17.2	10.3	24.1	34.5	0.0
	40 代	N	27	7	8	3	1	2	4	0
		%	100.0	25.9	29.6	11.1	3.7	7.4	14.8	0.0
	50 代	N	24	10	11	9	4	6	4	2
		%	100.0	41.7	45.8	37.5	16.7	25.0	16.7	8.3
	60 代	N	23	14	10	7	2	6	8	0
		%	100.0	60.9	43.5	30.4	8.7	26.1	34.8	0.0

Q5(続き)		全体	8. インターネット上の情報（厚生労働省や専門機関の示すもの）	9. インターネット上の情報（民間企業の示すもの）	10. インターネット上の情報（個人のブログやSNSで発信されるもの）	11. 友人や知人の口コミでの情報	12. 広告やチラシ、DMによって提供される情報	13. その他	14. 特にない	
年齢	全 体	N	130	37	18	15	15	0	2	39
		%	100.0	28.5	13.8	11.5	11.5	0.0	1.5	30.0
	20 代	N	27	8	3	2	5	0	0	11
		%	100.0	29.6	11.1	7.4	18.5	0.0	0.0	40.7
	30 代	N	29	12	6	5	4	0	1	5
		%	100.0	41.4	20.7	17.2	13.8	0.0	3.4	17.2
	40 代	N	27	5	3	5	0	0	0	12
		%	100.0	18.5	11.1	18.5	0.0	0.0	0.0	44.4

50代	N	24	7	5	2	4	0	0	8
	%	100.0	29.2	20.8	8.3	16.7	0.0	0.0	33.3
60代	N	23	5	1	1	2	0	1	3
	%	100.0	21.7	4.3	4.3	8.7	0.0	4.3	13.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q6. ガンや難病などに関して、いわゆる代替療法や民間療法（自宅で独自に食材摂取や手当を行うこと）について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表E6 代替医療や民間療法に関する考えについて

Q6		全体	1. 代替療法や民間療法は根拠が希薄で、自分なら選択しないと思う	2. 代替療法や民間療法は根拠が希薄だが、自分なら選択するかもしれない	3. 代替療法や民間療法はそれなりに効果を経験した人がいると思うので、自分なら選択するかもしれない	4. 代替療法や民間療法にはまだ医学では解明できない有効な効果が含まれていると思うので、自分なら選択すると思う	5. わからない
全体	N	130	49	23	22	0	36
	%	100.0	37.7	17.7	16.9	0.0	27.7
20代	N	27	8	7	5	0	7
	%	100.0	29.6	25.9	18.5	0.0	25.9
30代	N	29	12	7	3	0	7
	%	100.0	41.4	24.1	10.3	0.0	24.1
40代	N	27	10	2	3	0	12
	%	100.0	37.0	7.4	11.1	0.0	44.4
50代	N	24	8	3	5	0	8
	%	100.0	33.3	12.5	20.8	0.0	33.3
60代	N	23	11	4	6	0	2
	%	100.0	47.8	17.4	26.1	0.0	8.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q7. 未来型の医療として、あなたがイメージできるのは、次のうちどれですか。

表E7 未来型医療のイメージについて

Q7		全体		1. 待ち時間ゼロでいつでも受診できる医療機関	2. 全く家から出なくとも、精密な検査や診療、治療が受けられること	3. 治療や手術などの期間や時間が大幅に短縮されること（1回や1日で完治など）	4. 治療や手術、検査などで全く痛みを感じないようなことができること	5. 自分の遺伝子から健康な臓器を複製し、病気になった部分と差し替えることができること	6. 常に日常生活の中から身体の情報収集し、自覚症状が出る前に疾病の警告が得られること
年齢	全体	N	130	46	35	61	56	46	34
		%	100.0	35.4	26.9	46.9	43.1	35.4	26.2
	20代	N	27	6	4	17	13	11	6
		%	100.0	22.2	14.8	63.0	48.1	40.7	22.2
	30代	N	29	12	10	9	12	11	11
		%	100.0	41.4	34.5	31.0	41.4	37.9	37.9
	40代	N	27	12	7	10	10	11	3
		%	100.0	44.4	25.9	37.0	37.0	40.7	11.1
	50代	N	24	9	5	12	11	6	7
		%	100.0	37.5	20.8	50.0	45.8	25.0	29.2
	60代	N	23	7	9	13	10	7	7
		%	100.0	30.4	39.1	56.5	43.5	30.4	30.4

Q7(続き)		全体		7. 老化をコントロールし、長期間にわたって若々しい身体の状態が維持される技術	8. 視力や聴力、筋力を代替する超小型ハイテク機器を身体に埋め込む技術	9. 人に代わって、AIやロボットが診察する病院の登場	10. 病院ではなく自宅で、自分で治療を行うことができる機器の登場	11. その他	12. わからない
年齢	全体	N	130	30	18	31	22	1	16
		%	100.0	23.1	13.8	23.8	16.9	0.8	12.3
	20代	N	27	3	5	5	3	0	2
		%	100.0	11.1	18.5	18.5	11.1	0.0	7.4
	30代	N	29	8	4	9	8	1	3
		%	100.0	27.6	13.8	31.0	27.6	3.4	10.3
	40代	N	27	6	6	10	6	0	4
		%	100.0	22.2	22.2	37.0	22.2	0.0	14.8

50代	N	24	6	2	4	2	0	5
	%	100.0	25.0	8.3	16.7	8.3	0.0	20.8
60代	N	23	7	1	3	3	0	2
	%	100.0	30.4	4.3	13.0	13.0	0.0	8.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q8. 医療技術や製薬技術の進歩のために、あなたの体の情報や診療・検査結果のデータを第三者が利用することについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表E8 医療データの第三者利用について

Q8	全体	1. 個人が特定されないのであれば、予め同意がなくてもDNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。		2. 個人が特定されないのであれば、予め同意をしたもとで、DNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。		3. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意がなくても自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。		4. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意をしたもとで、自由に使って、医療製薬技術の開発に利用してもよいと思う。		5. 例え個人が特定されなくとも、個人の身体、治療にかかわるデータを第三者が利用することには反対である。		6. わからない／この中にあるものはない	
		N	130	20	42	13	16	14	25				
		%	100.0	15.4	32.3	10.0	12.3	10.8	19.2				
年齢	20代	N	27	4	13	1	5	1	3				
		%	100.0	14.8	48.1	3.7	18.5	3.7	11.1				
	30代	N	29	1	11	4	2	6	5				
		%	100.0	3.4	37.9	13.8	6.9	20.7	17.2				
	40代	N	27	9	6	4	1	1	6				
		%	100.0	33.3	22.2	14.8	3.7	3.7	22.2				
	50代	N	24	4	5	1	4	2	8				
		%	100.0	16.7	20.8	4.2	16.7	8.3	33.3				
	60代	N	23	2	7	3	4	4	3				
		%	100.0	8.7	30.4	13.0	17.4	17.4	13.0				

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q9. AI（人工知能）による医療診断について、あなたの考えに近い（ある程度以上同意する）ものはどれですか。（いくつでも）

表E9 AIによる医療診断について

Q9		全体	1. 根拠が明示され、結果に納得ができる	2. 待ち時間のストレスを緩和できる	3. 治療時間の短縮化が期待できる	4. 金銭的コストを改善できる	5. 人手不足の問題を解消できる	6. 地域格差の問題を解消できる	7. 間違っ た診断で不快にならなくて済む	
年齢	全体	N	130	22	45	38	48	68	42	22
		%	100.0	16.9	34.6	29.2	36.9	52.3	32.3	16.9
	20代	N	27	2	9	4	8	17	8	2
		%	100.0	7.4	33.3	14.8	29.6	63.0	29.6	7.4
	30代	N	29	5	11	11	14	16	7	6
		%	100.0	17.2	37.9	37.9	48.3	55.2	24.1	20.7
	40代	N	27	4	8	7	9	9	11	8
		%	100.0	14.8	29.6	25.9	33.3	33.3	40.7	29.6
	50代	N	24	6	8	6	9	13	9	5
		%	100.0	25.0	33.3	25.0	37.5	54.2	37.5	20.8
	60代	N	23	5	9	10	8	13	7	1
		%	100.0	21.7	39.1	43.5	34.8	56.5	30.4	4.3

Q9(続き)		全体	8. 診断に対しての責任の所在に不安を感じる	9. 自分の感情や状況を理解してもらえないと思えない	10. 複雑な症例は診断しきれないと思う	11. 医師がAIに依存して本来の役割を果たせなくなる	12. 医師が人工知能を使いこなせないと思う	13. その他	14. わからない	
年齢	全体	N	130	35	29	44	23	17	0	16
		%	100.0	26.9	22.3	33.8	17.7	13.1	0.0	12.3
	20代	N	27	14	9	11	6	3	0	0
		%	100.0	51.9	33.3	40.7	22.2	11.1	0.0	0.0
	30代	N	29	8	6	13	8	6	0	3
		%	100.0	27.6	20.7	44.8	27.6	20.7	0.0	10.3
	40代	N	27	3	5	8	1	2	0	6
		%	100.0	11.1	18.5	29.6	3.7	7.4	0.0	22.2
		N	24	5	3	7	3	2	0	5

50代	%	100.0	20.8	12.5	29.2	12.5	8.3	0.0	20.8
60代	N	23	5	6	5	5	4	0	2
	%	100.0	21.7	26.1	21.7	21.7	17.4	0.0	8.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q10. あなたが、次のなかで、A I（人工知能）やロボットに任せてもよいと思う診療行為はどれですか。（いくつでも）

表E10 A Iに任せてもよい診療行為について

Q10		全体	1. 症状から訪れるべき医療機関や診療科の選択や候補の提示	2. 初診や再診の予約の受付	3. 初診の際の問診	4. 身長、体重、血圧、視力、聴力、心拍数、体温などの測定	5. 処方箋に基づく調剤や薬の給付	6. 診療や投薬の代金支払いの会計	7. 健康診断書や診療内容の証明書の発行	
年齢	全体	N	130	67	84	49	96	42	67	55
		%	100.0	51.5	64.6	37.7	73.8	32.3	51.5	42.3
	20代	N	27	16	19	12	23	9	17	14
		%	100.0	59.3	70.4	44.4	85.2	33.3	63.0	51.9
	30代	N	29	15	20	14	21	10	17	13
		%	100.0	51.7	69.0	48.3	72.4	34.5	58.6	44.8
	40代	N	27	12	18	5	17	9	13	9
		%	100.0	44.4	66.7	18.5	63.0	33.3	48.1	33.3
	50代	N	24	11	16	9	17	9	9	8
		%	100.0	45.8	66.7	37.5	70.8	37.5	37.5	33.3
	60代	N	23	13	11	9	18	5	11	11
		%	100.0	56.5	47.8	39.1	78.3	21.7	47.8	47.8

Q10(続き)		全体	8. 一般の健康診断の結果の分析と本人への告知・説明と保健指導	9. 患者からの病状や治療方針等の質問・相談に対する回答	10. 入院時の病室の巡回、体温測定、病状の確認	11. レントゲンの撮影	12. 採血	13. 注射や点滴	14. 歯科治療	
年齢	全体	N	130	18	10	24	37	12	11	5
		%	100.0	13.8	7.7	18.5	28.5	9.2	8.5	3.8
		N	27	6	3	6	10	3	3	1

20代	%	100.0	22.2	11.1	22.2	37.0	11.1	11.1	3.7
	N	29	4	1	6	8	3	3	1
30代	%	100.0	13.8	3.4	20.7	27.6	10.3	10.3	3.4
	N	27	3	2	5	8	2	2	1
40代	%	100.0	11.1	7.4	18.5	29.6	7.4	7.4	3.7
	N	24	1	0	2	5	2	1	1
50代	%	100.0	4.2	0.0	8.3	20.8	8.3	4.2	4.2
	N	23	4	4	5	6	2	2	1
60代	%	100.0	17.4	17.4	21.7	26.1	8.7	8.7	4.3
	N	23	4	4	5	6	2	2	1

Q10(続き)		全体	15. 外科手術（開腹を伴うもの）	16. 死亡の判定	17. ガンの告知と治療方針の説明	18. その他	19. わからない	
年齢	全体	N	130	8	8	7	0	12
		%	100.0	6.2	6.2	5.4	0.0	9.2
	20代	N	27	2	5	3	0	0
		%	100.0	7.4	18.5	11.1	0.0	0.0
	30代	N	29	1	0	1	0	2
		%	100.0	3.4	0.0	3.4	0.0	6.9
	40代	N	27	2	1	2	0	3
		%	100.0	7.4	3.7	7.4	0.0	11.1
	50代	N	24	1	1	0	0	5
		%	100.0	4.2	4.2	0.0	0.0	20.8
	60代	N	23	2	1	1	0	2
		%	100.0	8.7	4.3	4.3	0.0	8.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q11. あなたの現在の健康状態はいかがですか。（1つだけ）

表E11 現在の健康状態について

Q11		全体	1. よい	2. まあよい	3. ふつう	4. あまりよくない	5. よくない	
年齢	全体	N	130	21	38	47	17	7
		%	100.0	16.2	29.2	36.2	13.1	5.4
	20代	N	27	6	11	8	2	0
		%	100.0	22.2	40.7	29.6	7.4	0.0
	30代	N	29	7	6	8	7	1

	%	100.0	24.1	20.7	27.6	24.1	3.4
40代	N	27	4	3	13	5	2
	%	100.0	14.8	11.1	48.1	18.5	7.4
50代	N	24	1	9	10	2	2
	%	100.0	4.2	37.5	41.7	8.3	8.3
60代	N	23	3	9	8	1	2
	%	100.0	13.0	39.1	34.8	4.3	8.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q12. あなたが健康を維持するために行っていることをお選びください。（いくつでも）

表E12 健康維持のための行動について

Q12		全体	1. 職場や市町村の実施する健康診断を必ず受ける	2. 自発的に人間ドックを受診する	3. 定期的に運動・フィットネス・体操等を継続する	4. つねに食事に気をつけ、望ましい食生活を実践する	5. レジャーや旅行などの余暇活動の充実をさせている	6. スマホやパソコン等の健康サポートアプリを利用する	
年齢	全体	N	130	50	9	27	35	25	6
		%	100.0	38.5	6.9	20.8	26.9	19.2	4.6
	20代	N	27	8	1	6	8	12	1
		%	100.0	29.6	3.7	22.2	29.6	44.4	3.7
	30代	N	29	10	1	3	7	4	3
		%	100.0	34.5	3.4	10.3	24.1	13.8	10.3
	40代	N	27	5	1	2	6	2	0
		%	100.0	18.5	3.7	7.4	22.2	7.4	0.0
	50代	N	24	12	4	6	5	4	0
		%	100.0	50.0	16.7	25.0	20.8	16.7	0.0
	60代	N	23	15	2	10	9	3	2
		%	100.0	65.2	8.7	43.5	39.1	13.0	8.7

Q12(続き)		全体	7. 新聞・テレビ・雑誌などで健康の情報・知識を増やすようにしている	8. 油分・塩分を取りすぎないようにする	9. 酒・タバコを控えている	10. 過労に注意し、睡眠、休養を十分とるよう心がけている	11. あてはまるものはない	
年齢	全体	N	130	21	34	31	47	31
		%	100.0	16.2	26.2	23.8	36.2	23.8

20代	N	27	2	6	8	10	6
	%	100.0	7.4	22.2	29.6	37.0	22.2
30代	N	29	3	7	7	8	6
	%	100.0	10.3	24.1	24.1	27.6	20.7
40代	N	27	2	6	3	8	12
	%	100.0	7.4	22.2	11.1	29.6	44.4
50代	N	24	4	4	4	9	5
	%	100.0	16.7	16.7	16.7	37.5	20.8
60代	N	23	10	11	9	12	2
	%	100.0	43.5	47.8	39.1	52.2	8.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q13. 今後、AIやロボット技術の進展と介護人材の不足に伴って、ヒト型AIロボットが介護の世話をを行う時代が来るかもしれません。この時、あなたがヒト型AIロボットによって介護してもらった方が良いか従来の介護士（人）によって介護してもらった方が良いかを選んでください。

表E13-1 食事の介助

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い	
年齢	全体	N	130	7	15	57	31	20
		%	100.0	5.4	11.5	43.8	23.8	15.4
	20代	N	27	0	3	10	9	5
		%	100.0	0.0	11.1	37.0	33.3	18.5
	30代	N	29	5	3	11	7	3
		%	100.0	17.2	10.3	37.9	24.1	10.3
	40代	N	27	1	4	15	5	2
		%	100.0	3.7	14.8	55.6	18.5	7.4
	50代	N	24	1	3	11	5	4
		%	100.0	4.2	12.5	45.8	20.8	16.7
	60代	N	23	0	2	10	5	6
		%	100.0	0.0	8.7	43.5	21.7	26.1

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表E13-2 入浴の介助

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い	
年齢	全体	N	130	19	31	45	20	15
		%	100.0	14.6	23.8	34.6	15.4	11.5
	20代	N	27	1	5	9	7	5
		%	100.0	3.7	18.5	33.3	25.9	18.5
	30代	N	29	8	6	10	4	1
		%	100.0	27.6	20.7	34.5	13.8	3.4
	40代	N	27	5	8	10	3	1
		%	100.0	18.5	29.6	37.0	11.1	3.7
	50代	N	24	4	6	8	4	2
		%	100.0	16.7	25.0	33.3	16.7	8.3
	60代	N	23	1	6	8	2	6
		%	100.0	4.3	26.1	34.8	8.7	26.1

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表E13-3 整容の介助

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い	
年齢	全体	N	130	10	15	66	27	12
		%	100.0	7.7	11.5	50.8	20.8	9.2
	20代	N	27	0	3	14	8	2
		%	100.0	0.0	11.1	51.9	29.6	7.4
	30代	N	29	3	2	15	7	2
		%	100.0	10.3	6.9	51.7	24.1	6.9
	40代	N	27	4	5	14	3	1
		%	100.0	14.8	18.5	51.9	11.1	3.7
	50代	N	24	2	2	11	5	4
		%	100.0	8.3	8.3	45.8	20.8	16.7
	60代	N	23	1	3	12	4	3
		%	100.0	4.3	13.0	52.2	17.4	13.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表E13-4 移動の介助

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い	
年齢	全体	N	130	20	28	61	13	8
		%	100.0	15.4	21.5	46.9	10.0	6.2
	20代	N	27	4	8	10	4	1
		%	100.0	14.8	29.6	37.0	14.8	3.7
	30代	N	29	5	5	14	3	2
		%	100.0	17.2	17.2	48.3	10.3	6.9
	40代	N	27	7	7	11	1	1
		%	100.0	25.9	25.9	40.7	3.7	3.7
	50代	N	24	3	3	12	3	3
		%	100.0	12.5	12.5	50.0	12.5	12.5
	60代	N	23	1	5	14	2	1
		%	100.0	4.3	21.7	60.9	8.7	4.3

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表E13-5 トイレの介助

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い	
年齢	全体	N	130	30	40	37	12	11
		%	100.0	23.1	30.8	28.5	9.2	8.5
	20代	N	27	4	10	6	4	3
		%	100.0	14.8	37.0	22.2	14.8	11.1
	30代	N	29	11	7	4	4	3
		%	100.0	37.9	24.1	13.8	13.8	10.3
	40代	N	27	8	7	11	0	1
		%	100.0	29.6	25.9	40.7	0.0	3.7
	50代	N	24	6	6	6	3	3
		%	100.0	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5
	60代	N	23	1	10	10	1	1
		%	100.0	4.3	43.5	43.5	4.3	4.3

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表E13-6 話し相手

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い	
年齢	全体	N	130	4	5	45	38	38
		%	100.0	3.1	3.8	34.6	29.2	29.2
	20代	N	27	0	0	6	10	11
		%	100.0	0.0	0.0	22.2	37.0	40.7
	30代	N	29	1	0	12	8	8
		%	100.0	3.4	0.0	41.4	27.6	27.6
	40代	N	27	1	1	10	8	7
		%	100.0	3.7	3.7	37.0	29.6	25.9
	50代	N	24	1	3	8	4	8
		%	100.0	4.2	12.5	33.3	16.7	33.3
	60代	N	23	1	1	9	8	4
		%	100.0	4.3	4.3	39.1	34.8	17.4

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表E13-7 ゲームや娯楽の相手

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い	
年齢	全体	N	130	11	23	61	18	17
		%	100.0	8.5	17.7	46.9	13.8	13.1
	20代	N	27	3	5	8	5	6
		%	100.0	11.1	18.5	29.6	18.5	22.2
	30代	N	29	3	5	15	4	2
		%	100.0	10.3	17.2	51.7	13.8	6.9
	40代	N	27	3	4	12	4	4
		%	100.0	11.1	14.8	44.4	14.8	14.8
	50代	N	24	2	4	12	2	4
		%	100.0	8.3	16.7	50.0	8.3	16.7
	60代	N	23	0	5	14	3	1
		%	100.0	0.0	21.7	60.9	13.0	4.3

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表E13-8 部屋の掃除

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い	
年齢	全体	N	130	27	33	57	8	5
		%	100.0	20.8	25.4	43.8	6.2	3.8
	20代	N	27	4	7	11	2	3
		%	100.0	14.8	25.9	40.7	7.4	11.1
	30代	N	29	9	6	11	2	1
		%	100.0	31.0	20.7	37.9	6.9	3.4
	40代	N	27	7	7	12	1	0
		%	100.0	25.9	25.9	44.4	3.7	0.0
	50代	N	24	4	6	13	1	0
		%	100.0	16.7	25.0	54.2	4.2	0.0
	60代	N	23	3	7	10	2	1
		%	100.0	13.0	30.4	43.5	8.7	4.3

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表E13-9 薬の管理

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い	
年齢	全体	N	130	21	30	50	18	11
		%	100.0	16.2	23.1	38.5	13.8	8.5
	20代	N	27	5	6	8	6	2
		%	100.0	18.5	22.2	29.6	22.2	7.4
	30代	N	29	5	6	10	4	4
		%	100.0	17.2	20.7	34.5	13.8	13.8
	40代	N	27	7	6	12	1	1
		%	100.0	25.9	22.2	44.4	3.7	3.7
	50代	N	24	2	5	11	4	2
		%	100.0	8.3	20.8	45.8	16.7	8.3
	60代	N	23	2	7	9	3	2
		%	100.0	8.7	30.4	39.1	13.0	8.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表E13-10 お金の管理

Q13		全体	1. ロボットの方が良い	2. どちらかと言えばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかと言えば、人の方が良い	5. 人の方が良い	
年齢	全体	N	130	29	31	46	11	13
		%	100.0	22.3	23.8	35.4	8.5	10.0
	20代	N	27	5	11	6	1	4
		%	100.0	18.5	40.7	22.2	3.7	14.8
	30代	N	29	5	7	8	5	4
		%	100.0	17.2	24.1	27.6	17.2	13.8
	40代	N	27	9	3	13	1	1
		%	100.0	33.3	11.1	48.1	3.7	3.7
	50代	N	24	5	6	10	2	1
		%	100.0	20.8	25.0	41.7	8.3	4.2
	60代	N	23	5	4	9	2	3
		%	100.0	21.7	17.4	39.1	8.7	13.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q14. 近年、終末期医療に関して「安楽死」「尊厳死」「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの問題が話題になっていますが、それぞれについて、あてはまるものをお選びください。

表E14-1 あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎えることが避けられない状態にある場合、「延命治療」（ここでは治癒にはつながらず、死期を先延ばしするような処置であるものとする）を選択しますか。

Q14		全体	1. 積極的に選択する	2. どちらかといえば選択する	3. どちらとも言えない	4. どちらかといえば選択しない	5. 決して選択しない	
年齢	全体	N	130	6	12	34	40	38
		%	100.0	4.6	9.2	26.2	30.8	29.2
	20代	N	27	1	3	8	8	7
		%	100.0	3.7	11.1	29.6	29.6	25.9
	30代	N	29	1	4	7	9	8
		%	100.0	3.4	13.8	24.1	31.0	27.6
	40代	N	27	2	1	6	9	9
		%	100.0	7.4	3.7	22.2	33.3	33.3
	50代	N	24	1	1	6	9	7
		%	100.0	4.2	4.2	25.0	37.5	29.2
		N	23	1	3	7	5	7

60代	%	100.0	4.3	13.0	30.4	21.7	30.4
-----	---	-------	-----	------	------	------	------

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表E14-2 あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にある場合、「尊厳死」（ここでは、延命治療をやめて痛みを緩和する処置にとどめて、自然死を迎えるものとする）を選択しますか。

Q14		全体	1. 積極的に 選択する	2. どちらかとい えば選択する	3. どちらとも 言えない	4. どちらかといえ ば選択しない	5. 決して選 択しない	
年 齢	全 体	N	130	30	46	37	11	6
		%	100.0	23.1	35.4	28.5	8.5	4.6
	20 代	N	27	4	10	10	3	0
		%	100.0	14.8	37.0	37.0	11.1	0.0
	30 代	N	29	7	10	7	3	2
		%	100.0	24.1	34.5	24.1	10.3	6.9
	40 代	N	27	7	10	7	1	2
		%	100.0	25.9	37.0	25.9	3.7	7.4
	50 代	N	24	8	8	6	1	1
		%	100.0	33.3	33.3	25.0	4.2	4.2
	60 代	N	23	4	8	7	3	1
		%	100.0	17.4	34.8	30.4	13.0	4.3

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表E14-3 あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きい場合に、患者の希望にしたがって、延命治療をやめて医師の手助けにより、患者が自ら苦しめない方法で自死を行う形での安楽死を選択しますか。

Q14		全体	1. 積極的に 選択する	2. どちらかとい えば選択する	3. どちらとも 言えない	4. どちらかといえ ば選択しない	5. 決して選 択しない	
年 齢	全 体	N	130	26	38	51	10	5
		%	100.0	20.0	29.2	39.2	7.7	3.8
	20 代	N	27	3	10	10	2	2
		%	100.0	11.1	37.0	37.0	7.4	7.4
	30 代	N	29	9	4	11	3	2
		%	100.0	31.0	13.8	37.9	10.3	6.9
		N	27	5	11	10	0	1

40代	%	100.0	18.5	40.7	37.0	0.0	3.7
	N	24	6	8	8	2	0
50代	%	100.0	25.0	33.3	33.3	8.3	0.0
	N	23	3	5	12	3	0
60代	%	100.0	13.0	21.7	52.2	13.0	0.0
	N	23	3	5	12	3	0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表E14-4 あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きい場合に、患者の希望にしたがって、延命治療をやめて医師が処置により患者を苦しめない方法で死亡させる形での安楽死を選択しますか。

Q14		全体	1. 積極的に 選択する	2. どちらかとい えば選択する	3. どちらと も言えない	4. どちらかとい えば選択しない	5. 決して選 択しない	
年 齢	全 体	N	130	23	37	54	10	6
		%	100.0	17.7	28.5	41.5	7.7	4.6
	20 代	N	27	6	8	10	1	2
		%	100.0	22.2	29.6	37.0	3.7	7.4
	30 代	N	29	5	5	15	1	3
		%	100.0	17.2	17.2	51.7	3.4	10.3
	40 代	N	27	4	9	10	3	1
		%	100.0	14.8	33.3	37.0	11.1	3.7
	50 代	N	24	5	8	9	2	0
		%	100.0	20.8	33.3	37.5	8.3	0.0
	60 代	N	23	3	7	10	3	0
		%	100.0	13.0	30.4	43.5	13.0	0.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表E14-5 あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きく、さらにあなたが意思表示できないような重篤な状態の場合に医師や家族の判断で延命治療をやめ、医師が処置により患者を苦しめない方法で死亡させる形での安楽死を選択しますか。

Q14		全体	1. 積極的に 選択する	2. どちらかとい えば選択する	3. どちらとも 言えない	4. どちらかとい えば選択しない	5. 決して選 択しない	
年 齢	全 体	N	130	27	49	45	6	3
		%	100.0	20.8	37.7	34.6	4.6	2.3

20代	N	27	5	12	9	0	1
	%	100.0	18.5	44.4	33.3	0.0	3.7
30代	N	29	7	8	10	3	1
	%	100.0	24.1	27.6	34.5	10.3	3.4
40代	N	27	7	8	11	0	1
	%	100.0	25.9	29.6	40.7	0.0	3.7
50代	N	24	5	13	5	1	0
	%	100.0	20.8	54.2	20.8	4.2	0.0
60代	N	23	3	8	10	2	0
	%	100.0	13.0	34.8	43.5	8.7	0.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q15. あなたの居住する市町村内または隣接する市町村にカジノを中心に宿泊施設、テーマパーク、商業施設などを一体的に整備する統合型リゾート（IR）が設置される場合に関し、ギャンブル依存や風紀の乱れが心配されている一方で、地域振興も期待されています。このことについてあなたの考えに近いものをお選びください。

表E15-1【A】カジノなどの問題はあるかもしれないが、IRによって自分の地域の経済や人口の交流が活性化されることを重視・評価して設置には賛成する。【B】IR内のカジノによってギャンブル依存や地域の風紀が乱れる心配があるので、設置には反対する。

Q15		全体	1. Aに近い	2. ややAに近い	3. どちらともいえない	4. ややBに近い	5. Bに近い
全体	N	130	11	20	27	30	42
	%	100.0	8.5	15.4	20.8	23.1	32.3
20代	N	27	2	8	4	5	8
	%	100.0	7.4	29.6	14.8	18.5	29.6
30代	N	29	1	3	9	6	10
	%	100.0	3.4	10.3	31.0	20.7	34.5
40代	N	27	6	4	4	4	9
	%	100.0	22.2	14.8	14.8	14.8	33.3
50代	N	24	1	3	6	9	5
	%	100.0	4.2	12.5	25.0	37.5	20.8
60代	N	23	1	2	4	6	10
	%	100.0	4.3	8.7	17.4	26.1	43.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表E15-2【A】諸外国に既にIRが存在し、観光客などが多く来訪して栄えている実績があるのだから

ら、治安や風紀に関する心配は過剰で、設置には賛成である。【B】経済効果があり、治安や風紀も問題ないとしても、外国人観光客にアピールすべき日本の良さはもっと別のものがあると思うので、設置には反対である。

Q15		全体	1. Aに近い	2. ややAに近い	3. どちらともいえない	4. ややBに近い	5. Bに近い	
年齢	全体	N	130	9	22	36	31	32
		%	100.0	6.9	16.9	27.7	23.8	24.6
	20代	N	27	2	4	6	7	8
		%	100.0	7.4	14.8	22.2	25.9	29.6
	30代	N	29	1	6	12	3	7
		%	100.0	3.4	20.7	41.4	10.3	24.1
	40代	N	27	4	6	6	5	6
		%	100.0	14.8	22.2	22.2	18.5	22.2
	50代	N	24	2	3	8	7	4
		%	100.0	8.3	12.5	33.3	29.2	16.7
	60代	N	23	0	3	4	9	7
		%	100.0	0.0	13.0	17.4	39.1	30.4

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

表E15-3【A】地域が振興することは十分に見込まれるのであれば、カジノという手段にあまりこだわらず、経済効果を追求してもよいと思う。【B】例え経済的な効果が見込まれるとしても、そもそもカジノを含むIRの設置という手段によって地域振興を達成しようとするべきではないと思う。

Q15		全体	1. Aに近い	2. ややAに近い	3. どちらともいえない	4. ややBに近い	5. Bに近い	
年齢	全体	N	130	10	25	44	23	28
		%	100.0	7.7	19.2	33.8	17.7	21.5
	20代	N	27	2	8	8	5	4
		%	100.0	7.4	29.6	29.6	18.5	14.8
	30代	N	29	2	6	11	4	6
		%	100.0	6.9	20.7	37.9	13.8	20.7
	40代	N	27	4	4	9	2	8
		%	100.0	14.8	14.8	33.3	7.4	29.6
	50代	N	24	1	4	8	7	4
		%	100.0	4.2	16.7	33.3	29.2	16.7
	60代	N	23	1	3	8	5	6
		%	100.0	4.3	13.0	34.8	21.7	26.1

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

表E15-4【A】IR設置の決定はある程度専門的で政策的な側面があるから、あまり細かなことまでこだわって設置時期が遅れるようなことがない方がいい。【B】IR設置の意思決定のプロセスや業者、政治家、設置権限を持つ人々の設置への関与の透明性が確保されない限り、設置には賛成できない。

Q15		全体	1. Aに近い	2. ややAに近い	3. どちらともいえない	4. ややBに近い	5. Bに近い	
年 齢	全 体	N	130	7	21	34	32	36
		%	100.0	5.4	16.2	26.2	24.6	27.7
	20 代	N	27	2	4	7	10	4
		%	100.0	7.4	14.8	25.9	37.0	14.8
	30 代	N	29	2	5	10	6	6
		%	100.0	6.9	17.2	34.5	20.7	20.7
	40 代	N	27	3	5	5	6	8
		%	100.0	11.1	18.5	18.5	22.2	29.6
	50 代	N	24	0	5	7	4	8
		%	100.0	0.0	20.8	29.2	16.7	33.3
	60 代	N	23	0	2	5	6	10
		%	100.0	0.0	8.7	21.7	26.1	43.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

## F. 未来型医療に関するアンケート調査票

問1 あなたが、未来のあるべき姿と比較して、現在の日本の状況について、ある程度満足に近いレベルまで達成されていると思うものは、どれですか。(〇はいくつでも)

1. 高齢者福祉	2. IT・通信技術	3. 車の安全運転技術
4. 地球温暖化対策	5. 自然災害に対する防災対策	6. 選挙・政治制度
7. 医療・治療技術	8. 男女平等	9. 子育て支援
10. 裁判制度	11. マスコミの報道姿勢	12. 救急搬送
13. 政府や自治体の情報公開	14. その他 ( )	15. わからない

問2 今後医療費が増大した場合、健康保険で受けられる医療サービスの水準と、その費用の負担の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(〇は1つだけ)

1. 今後、多少負担が増えても、現在の健康保険で受けられる医療サービスの水準を維持すべきだ
2. これ以上負担が増えないように、健康保険で受けられる医療サービスの水準をやや抑え気味にするべきだ
3. 負担を低くするために、健康保険で受けられる医療サービスの水準を抑制していくべきだ
4. わからない

問3 あなたは、今後、社会保障費の増大を抑制するため、政府が取り組みを強化するべきだと思うものはどれですか。(〇はいくつでも)

1. 予防活動や定期的な健康診断の受診など、本人が病気や要介護にならないような行動を評価する制度(健康保険料や介護保険料や自己負担割合の軽減など)
2. 健診を受けない行動、疾病や予防活動を行わない等、病気や要介護を避けようとしないうような行動にペナルティを与える制度(健康・介護保険料の増額や自己負担割合の引き上げなど)
3. 甘味の炭酸飲料や塩分を多く含む加工食品等に対して、疾病予防の見地から税金を課し、それらの食品等の摂取を抑制するように誘導する制度
4. 病院・診療所の治療成績や費用を情報公開し、患者が自分の判断で医療機関を選べるシステムの推進
5. DNAなど遺伝子レベルでの検査や治療の拡大と推進
6. AIやICT技術、ロボット等の導入による、医療・福祉のコンピュータ化、情報化、ロボット化の推進
7. その他 ( )
8. わからない

問4 あなたが、カウンセリングや心理相談など「心の健康」に関する治療や相談について、これまで経験したものはどれですか。(〇はいくつでも)

	1. 非常に満足できた	2. やや満足できた	3. どちらともいえない	4. あまり満足できなかった	5. 全く満足できなかった
1. 公立の医療機関(病院等)での治療や相談					

2. 私立の医療機関（病院等）での治療や相談					
3. 公立の相談機関（センター、相談所）での相談					
4. 私立や民間の相談機関（センター、相談所）での相談					

問 5 あなたは、以下にあげる健康法や病気の治療法に関する情報源で、ある程度信用している情報源はどれですか。（○はいくつでも）

1. NHKで放送されるテレビ・ラジオの健康番組による情報 2. 民放番組で放送されるテレビ・ラジオの健康番組による情報 3. 新聞の情報記事 4. 一般の雑誌・週刊誌などの情報記事 5. 健康専門雑誌の情報記事 6. 医師が執筆した書籍 7. 医師以外の方が執筆した書籍 8. インターネット上の情報（厚生労働省や専門機関の示すもの） 9. インターネット上の情報（民間企業の示すもの） 10. インターネット上の情報（個人のブログやSNSで発信されるもの） 11. 友人や知人の口コミでの情報 12. 広告やチラシ、DMによって提供される情報 13. その他（ <span style="float: right;">)</span> 14. 特にない
---

問 6 ガンや難病などに関して、いわゆる代替療法や民間療法（自宅で独自に食材摂取や手当を行うこと）について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（○は1つだけ）

1. 代替療法や民間療法は根拠が希薄で、自分なら選択しないと思う 2. 代替療法や民間療法は根拠が希薄だが、自分なら選択するかもしれない 3. 代替療法や民間療法はそれなりに効果を経験した人がいると思うので、自分なら選択するかもしれない 4. 代替療法や民間療法にはまだ医学では解明できない有効な効果が含まれていると思うので、自分なら選択すると思う 5. わからない
---

問 7 未来型の医療として、あなたがイメージできるのは、次のうちどれですか。（○はいくつでも）

1. 待ち時間ゼロでいつでも受診できる医療機関
2. 全く家から出なくとも、精密な検査や診療、治療が受けられること
3. 治療や手術などの期間や時間が大幅に短縮されること（1回や1日で完治など）
4. 治療や手術、検査などで全く痛みを感じないようにできること
5. 自分の遺伝子から健康な臓器を複製し、病気になった部分と差し替えることができること
6. 常に日常生活の中から身体の情報収集し、自覚症状が出る前に疾病の警告が得られること
7. 老化をコントロールし、長期間にわたって若々しい身体の状態が維持される技術
8. 視力や聴力、筋力を代替する超小型ハイテク機器を身体に埋め込む技術
9. 人に代わって、AIやロボットが診察する病院の登場
10. 病院ではなく自宅で、自分で治療を行うことができる機器の登場
11. その他（）
12. わからない

問 8 医療技術や製薬技術の進歩のために、あなたの体の情報や診療・検査結果のデータを第三者が利用することについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（○は1つだけ）

1. 個人が特定されないのであれば、予め同意がなくともDNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。
2. 個人が特定されないのであれば、予め同意をしたもとの、DNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。
3. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意がなくとも自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。
4. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意をしたもとの、自由に使って、医療製薬技術の開発に利用してもよいと思う。
5. 例え個人が特定されなくとも、個人の身体、治療にかかわるデータを第三者が利用することには反対である。
6. わからない/この中に当てはまるものはない

問 9 AI（人工知能）による医療診断について、あなたの考えに近い（ある程度以上同意する）ものはどれですか。（○はいくつでも）

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 根拠が明示され、結果に納得ができる | 2. 待ち時間のストレスを緩和できる    |
| 3. 治療時間の短縮化が期待できる    | 4. 金銭的コストを改善できる。      |
| 5. 人手不足の問題を解消できる     | 6. 地域格差の問題を解消できる      |
| 7. 間違った診断で不快にならなくて済む | 8. 診断に対しての責任の所在に不安を感じ |

る

- |                               |                        |
|-------------------------------|------------------------|
| 9. 自分の感情や状況を理解してもらえないとは思えない   | 10. 複雑な症例は診断しきれないと思う   |
| 11. 医師がA I に依存して本来の役割を果たせなくなる | 12. 医師が人工知能を使いこなせないと思う |
| 13. その他 ( )                   | 14. わからない              |

問 10 あなたが、次のなかで、A I (人工知能) やロボットに任せてもよいと思う診療行為はどれですか。(○はいくつでも)

- |                                 |           |                   |          |
|---------------------------------|-----------|-------------------|----------|
| 1. 症状から訪れるべき医療機関や診療科の選択や候補の提示   |           |                   |          |
| 2. 初診や再診の予約の受付                  |           |                   |          |
| 3. 初診の際の問診                      |           |                   |          |
| 4. 身長、体重、血圧、視力、聴力、心拍数、体温の測定など   |           |                   |          |
| 5. 処方箋に基づく調剤や薬の給付               |           |                   |          |
| 6. 診療や投薬の代金支払いの会計               |           |                   |          |
| 7. 健康診断書や診療内容の証明書の発行            |           |                   |          |
| 8. 一般の健康診断の結果の分析と本人への告知・説明と保健指導 |           |                   |          |
| 9. 患者からの病状や治療方針等の質問・相談に対する回答    |           |                   |          |
| 10. 入院時の病室の巡回、体温測定、病状の確認        |           |                   |          |
| 11. レントゲンの撮影                    | 12. 採血    | 13. 注射や点滴         | 14. 歯科治療 |
| 15. 外科手術 (開腹を伴うもの)              | 16. 死亡の判定 | 17. ガンの告知と治療方針の説明 |          |
| 18. その他 ( )                     |           | 19. わからない         |          |

問 11 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)

- |       |         |        |            |         |
|-------|---------|--------|------------|---------|
| 1. よい | 2. まあよい | 3. ふつう | 4. あまりよくない | 5. よくない |
|-------|---------|--------|------------|---------|

問 12 あなたは健康を維持するために行っていることをお選びください。(○はいくつでも)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 職場や市町村の実施する健康診断を必ず受ける           |
| 2. 自発的に人間ドックを受診する                  |
| 3. 定期的に運動・フィットネス・体操等を継続する          |
| 4. つねに食事に気をつけ、望ましい食生活を実践する         |
| 5. レジャーや旅行などの余暇活動の充実をさせている         |
| 6. スマホやパソコン等の健康サポートアプリを利用する        |
| 7. 新聞・テレビ・雑誌などで健康の情報・知識を増やすようにしている |
| 8. 油分・塩分を取りすぎないようにする               |
| 9. 酒・タバコを控えている                     |
| 10. 過労に注意し、睡眠、休養を十分とるよう心がけている      |

11. あてはまるものはない

問 13 今後、AI やロボット技術の進展と介護人材の不足に伴って、ヒト型 AI ロボットが介護の世話をを行う時代が来るかもしれません。この時、あなたがヒト型 AI ロボットによって介護してもらった方が良いか従来の介護士（人）によって介護してもらった方が良いかを選んでください。

	1. ロボットの方が良い	2. どちらかといえばロボットの方が良い	3. どちらでも良い	4. どちらかといえば、人の方が良い	5. 人の方が良い
1. 食事の介助					
2. 入浴の介助					
3. 整容の介助					
4. 移動の介助					
5. トイレの介助					
6. 話し相手					
7. ゲームや娯楽の相手					
8. 部屋の掃除					
9. 薬の管理					
10. お金の管理					

問 14 近年、終末期医療に関して「安楽死」「尊厳死」「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの問題が話題になっていますが、それぞれについて、お選びください。

	1. 積極的に選択する	2. どちらかといえば選択する	3. どちらとも言えない	4. どちらかといえば選択しない	5. 決して選択しない
1. あなたが病気やケガで助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎えることが避けられない状態にある場合、「延命治療」（ここでは治癒にはつながらず、死期を先延ばしするような処置であるものとする）を選択しますか。					
2. あなたが病気で助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にある場合、尊厳死（ここでは、延命治療をやめて痛みを緩和する処置にとどめて、自然死を迎えるものとする）を選択しますか。					
3. あなたが病気で助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きい場合					

に患者の希望にしたがって、延命治療をやめて医師の手助けにより、患者が自ら苦しめない方法で自死を行う形での安楽死を選択しますか。					
4. あなたが病気で助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きい場合に患者の希望にしたがって、延命治療をやめて医師が処置により患者を苦しめない方法で死亡させる形での安楽死を選択しますか。					
5. あなたが病気で助かる見込みがなく、6か月以内に死を迎える可能性が高い状態にあり、かつ痛みや苦痛が大きく、さらにあなたが意思表示できないような重篤な状態の場合に医師や家族の判断で延命治療をやめ、医師が処置により患者を苦しめない方法で死亡させる形での安楽死を選択しますか。					

問 15 あなたの居住する市町村内または隣接する市町村にカジノを中心に宿泊施設、テーマパーク、商業施設などを一体的に整備する統合型リゾート（IR）が設置される場合に関し、ギャンブル依存や風紀の乱れが心配されている一方、地域振興も期待されています。このことについてあなたの考えに近いものをお選びください。

	1. Aの方に近い	2. ややAの方に近い	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば同意しない	5. 同意しない
1A. カジノなどの問題はあるかもしれないが、IRによって自分の地域の経済や人口の交流が活性化されることを重視・評価して設置には賛成する。 1B. IR内のカジノによってギャンブル依存や地域の風紀が乱れる心配があるので、設置には反対する。					
2A. 諸外国に既にIRが存在し、観光客などが多く来訪して栄えている実績があるのだから、治安や風紀に関する心配は過剰で、設置には賛成である。 2B. 経済効果があり、治安や風紀も問題ないとしても、外国人					

<p>観光客にアピールすべき日本の良さはもっと別のものがあると思うので、設置には反対である。</p>					
<p>3A. 地域が振興することは十分に見込まれるのであれば、カジノという手段にあまりこだわらず、経済効果を追求してもよいと思う。</p> <p>3B. 例え経済的な効果が見込まれるとしても、そもそもカジノを含むIRの設置という手段によって地域振興を達成しようとするべきではないと思う。</p>					
<p>4A. IR 設置の決定はある程度専門的で政策的な側面があるから、あまり細かなことまでこだわって設置時期が遅れるようなことがない方がいい。</p> <p>4B. IR設置の意思決定のプロセスや業者、政治家、設置権限を持つ人々の設置への関与の透明性が確保されない限り、設置には賛成できない。</p>					